

第四十三回 帝國議會 貴族院議事速記録第十六號

大正九年七月二十七日(火曜日)

午前十時二十八分開議

議事日程 第十六號 大正九年七月二十七日

午前十時開議

- 第一 大正七年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第二 大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第三 大正七年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第四 大正七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第五 大正七年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第六 大正七年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第七 大正七年度帝國鐵道特別會計積立金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第八 大正七年度帝國鐵道特別會計積立金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第九 大正八年法律第五號中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十一 朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十二 北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十三 國債償還資金ノ繰入ヲ爲サ、ルコトニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十四 事業公債金特別會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十五 道路公債法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十六 電話事業公債法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十七 朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十八 臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十九 樺太事業公債法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十 大正五年法律第四號中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十一 國債整理基金特別會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十二 家祿賞典祿處分法施行法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十三 鐵道國有法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十四 京釜鐵道買收法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十五 成田鐵道及中越鐵道買收ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十六 明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十八 關稅法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十九 明治四十三年勅令第三百三十一號等ノ廢止ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第三十 關稅法關稅定率法保稅倉庫法及假置場法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第三十一 內地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第三十二 朝鮮又ハ臺灣ヨリ移出シタル物品ノ內地又ハ樺太ニ於ケル取締ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第三十三 戰時海上再保險法廢止法律案(府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第三十四 著作權法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

一昨二十五日本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

大正九年勅令第八十七號(承諾ヲ求ムル件)

同日本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ奏上シ又承諾スヘキモノト議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大正九年勅令第七十一號(承諾ヲ求ムル件)

大正九年勅令第四十八號(承諾ヲ求ムル件)

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大正四年法律第十六號中改正法律案

朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案

賠償金特別會計法案

明治三十八年法律第十七號中改正法律案

恩給扶助料等ノ増額ニ關スル法律案

帝國大學特別會計法中改正法律案

大正八年法律第十二號中改正法律案

公立學校職員年功加俸國庫補助法案

獸疫豫防法ニ依リ下付スル手當金ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ採擇スヘキモノト議決シタル社寺境内地無償交付ニ關スル法律制定ノ請願外二十二件ノ請願ハ各意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

國債償還資金ノ繰入ヲ爲サ、ルコトニ關スル法律案可決報告書

事業公債金特別會計法中改正法律案可決報告書

道路公債法案修正報告書

電信事業公債法案可決報告書

電話事業公債法中改正法律案可決報告書

朝鮮事業公債法中改正法律案可決報告書

臺灣事業公債法中改正法律案可決報告書

樺太事業公債法中改正法律案可決報告書

大正五年法律第四號中改正法律案可決報告書

國債整理基金特別會計法中改正法律案可決報告書

家祿賞典祿處分法施行法中改正法律案可決報告書

鐵道國有法中改正法律案可決報告書

京釜鐵道買收法中改正法律案可決報告書

昨二十六日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

著作權法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵廣澤金次郎君

副委員長 子爵大河内正敏君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正七年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)  
大正七年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度帝國鐵道特別會計積立金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)  
大正七年度帝國鐵道特別會計積立金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

鐵道敷設法中改正法律案可決報告書  
北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案可決報告書

成田鐵道及中越鐵道買収ニ關スル法律案可決報告書  
明治四十一年法律第三十七號中改正法律案修正報告書

關稅法中改正法律案可決報告書  
明治四十三年勅令第三百三十一號等ノ廢止ニ關スル法律案可決報告書

關稅法關稅定率法保稅倉庫法及假置場法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル法律案可決報告書

內地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル法律案可決報告書  
朝鮮又ハ臺灣ヨリ移出シタル物品ノ內地又ハ樺太ニ於ケル取締ニ關スル法律案可決報告書

著作權法中改正法律案可決報告書  
大正九年度各特別會計歲入歳出豫算追加案(特第一號)修正報告書

臨時軍事費豫算追加案(第一號)可決報告書  
豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スル要件、特別會計大藏省所

管朝鮮總督府朝鮮農事改良株式會社補助削除其ノ他ハ可決報告書  
大正九年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)可決報告書

臨時軍事費豫算追加案(第二號)可決報告書  
大正九年度各特別會計歲入歳出豫算追加案(特第二號)可決報告書

同日豫算委員男爵宇佐川一正君外二十二名ヨリ大正九年度各特別會計歲入歳出豫算追加案(特第一號)豫算委員會ノ報告ニ對スル少數者意見ヲ提出セ

リ  
本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

所得稅法改正法律案修正報告書

所得稅法ノ施行ニ關スル法律案可決報告書

酒造稅法中改正法律案可決報告書

酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案可決報告書

麥酒稅法中改正法律案可決報告書

明治四十一年法律第二十四號中改正法律案可決報告書

明治四十年法律第二十一號中改正法律案可決報告書

麥酒稅法中改正法律案可決報告書

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、御諮リヲシタイト考ヘマス、日程第一ヨリ第八マデハ同一委員ニ付託セラレマシタカラ、委員長ノ報告モ東ネテ煩ハシテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第一、大正七年度豫備金支出ノ件、第二、大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、第三、大正七年度特別會計豫備金支出ノ件、第四、大正七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、第五、大正七年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件、第六、大正七年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件、第七、大正七年度帝國鐵道特別會計積立金支出ノ件、第八、大正七年度帝國鐵道特別會計積立金外ニ於テ豫算超過支出ノ件、只今議長ノ讀ミマシタ第一ヨリ第八マデノ承諾ヲ求ムル件、會議、議題ト致シマス、特別委員長中川伯爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

一大正七年度豫備金支出ノ件

一大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

一大正七年度特別會計豫備金支出ノ件

一大正七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

一大正七年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件

一大正七年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件

一大正七年度帝國鐵道特別會計積立金支出ノ件

一大正七年度帝國鐵道特別會計積立金外ニ於テ豫算超過支出ノ件  
右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十六日

右特別委員長

伯爵中川 久任

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵中川久任君演壇ニ登ル〕

○伯爵中川久任君 唯今議題ト相成リマシタ大正七年度豫備金支出ノ件、外  
七件取束ネテ御報告ニ及ビマス、委員會デハ是等ノ支出ハ物價騰貴ノ際、且  
時局ノ推移ニ伴ヒマシテ、已ムヲ得ザル支出ト認メマシテ、全部承諾ヲ與  
ルコトニ決議ニナリマシタ、尙ホ其節委員ノ方ヨリ政府當局ノ方ニ質問ガゴ  
ザイマシタ、ソレハ政府デハ憲法上ハ如何ナル解釋ヲ持ッテ居ラレルガラウカ  
ト云フ質問デゴザイマス、其質問ニ對シテノ政府ノ答辯ニハ委員ハ満足ヲ與  
ヘテ居リマセヌガ、併シ是ハマア別問題トシテ、委員ニ付託サレマシタ案件  
ハ全部承諾ヲ與ヘルコトニナリマシタ、是ダケ御報告致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第一ヨリ第八マデノ議案ニ承諾ヲ與ヘテ御異  
存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第九、大正八年法律第五號中改正法律案、政  
府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、特別委員長佐佐木侯爵

大正八年法律第五號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十四日

右特別委員長

侯爵佐佐木 行忠

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔侯爵佐佐木行忠君演壇ニ登ル〕

○侯爵佐佐木行忠君 委員會ノ經過ト結果ヲ御報告イタシマス、委員會ニ於  
キマシテハ、本會議ニ於ケル質問ノ如キ質問ガゴザイマシテ、討論ニ移リマシ

タ、何等ノ意見ナク全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、右御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○侯爵佐佐木行忠君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、原案ニ對シテ御異存  
ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○侯爵佐佐木行忠君 直チニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十、鐵道敷設法中改正法律案、政府提出、  
衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、平井晴二郎君

鐵道敷設法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十六日

右特別委員長

平井晴二郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔侯爵佐佐木行忠君演壇ニ登ル〕

○侯爵佐佐木行忠君 委員會ノ經過ト結果ヲ御報告イタシマス、委員會ニ於  
キマシテハ、本會議ニ於ケル質問ノ如キ質問ガゴザイマシテ、討論ニ移リマシ

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔平井晴二郎君演壇ニ登ル〕

○平井晴二郎君 唯今議題ニ上リマシタ、鐵道敷設法中改正法律案特別委員  
會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス本案ハ鐵道敷設法中ニ列記シアル所ノ  
豫定線ノ中盛岡ヨリ宮古、山田ニ至ル鐵道外四線ヲ第一期線ニ繰上ゲ大正九  
年度以降ニ於テ四線ノ工事ニ著手セムトスル法案デアアルノデアリマス、而シ  
テ此特別委員會ハ前後六回開キマシテゴザイマス、又委員各位ヨリ澤山ニ質  
問モゴザイマシタガ、此質問ヲ一々御紹介スルハ、徒ラニ時ヲ費スニ過ギヌ  
ト思ヒマスカラ、是ハ差控ヘマス、而シテ特別委員會ハ全會一致ヲ以テ可決  
スベキモノト決定イタシマシタデゴザイマス、此段御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ニ對シテ別ニ御發言モナイト認メマスカラ採  
決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○平井晴二郎君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ全部ヲ問題ニ供シマス、  
全部原案通り御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○平井晴二郎君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十一、朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律  
案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、佐佐木侯爵  
朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
大正九年七月二十四日  
右特別委員長  
侯爵佐佐木行忠

大正九年七月二十四日

右特別委員長

侯爵佐佐木行忠

貴族院議長公爵徳川家達殿  
〔侯爵佐佐木行忠君演壇ニ登ル〕

○侯爵佐佐木行忠君 委員會ノ經過ト結果ヲ報告イタシマス、本案ハ第一回  
國勢調査ハ朝鮮ニ於テハ之ヲ施行セヌト云フ案デアリマシテ、其理由ト致シ  
マシテハ、朝鮮ニ於キマシテ、國勢調査從事員ガ十萬二千餘人ヲ要スルノデ  
アリマス、然ルニ昨年三月ノ動亂以來豫定ノ數ヲ得ルコト困難デアリマシテ、  
調査員ノ不足額ガ凡ソ三萬人デ、通譯ノ不足ガ二萬千餘人デアリマス、ソレ  
デ本年ハ第一回國勢調査ハ行ヘナイト云フノデアリマス、然ラバ朝鮮ニ於ケ  
ル國勢調査ハ何時スルカト云フ問ガゴザイマシタ、ソレニ對シテハ第二回國  
勢調査カラハ必ず行フト云フ答辯デアリマシタ、右ノヤウナ譯デアリマシテ、  
委員會ニ於キマシテハ、別段ノ意見ナク全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、  
右御報告イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵土方雄志君 續イテ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵土方雄志君 續イテ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十二、北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、平井晴二郎君

北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十六日

右特別委員長

平井晴二郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔平井晴二郎君演壇ニ登ル〕

○平井晴二郎君 唯今議題ニ上リマシタ北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案ハ、北海道ニ於キマシテハ内地ト經濟ノ事情多少異ル點アルガ故ニ、全國ニ施行サレテ居ル輕便鐵道補助法ニ依ッテ、五分ヲ給スルダケハ尙ホ十分ナラズ、故ニ北海道ニ於テハ、此上ニ此補助額ヲ増ス必要ガアル、本案ニ依ッテ北海道ノ拓殖鐵道並ニ軌道ニ對シテ、年七七朱マデノ補助ヲ與ヘムトスル法案デアリマスノデ、此軌道ニ關シテハ、政府ノ原案デハナカッタノガ衆議院デ是ガ追加サレタ次第デ、而モ政府ハ之ニ同意ヲ表シタ譯デアリマス、本案ニ付キマシテハ、多少ノ質問應答モアリマシタケレドモ、是亦此場合ニ一々御紹介スルコトヲ相省キマス、委員會ニ於キマシテハ、何等ノ異議ナク全會一致ヲ以

テ可決イタシマシテゴザイマス、右御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○平井晴二郎君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○平井晴二郎君 續イテ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ニ御諮リヲ致シタイコトハ、日程第十三ヨリ第二十五マデノ法案ハ、同一委員ニ付託セラレマシタカラ、特別委員會ノ報告

ハ、一括シテ委員長ヲ煩ハシタイト考ヘマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程ノ第十三國債償還資金ノ繰入ヲ爲ササルコト

ニ關スル法律案……議長ハ一々讀マヌデモ宜カラウカト考ヘマス、日程ノ第十三ヨリ第二十五、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、荒井賢太郎君

國債償還資金ノ繰入ヲ爲ササルコトニ關スル法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十五日

右特別委員長

荒井賢太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

事業公債金特別會計法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十五日

右特別委員長

荒井賢太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

道路公債法案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十五日

右特別委員長

荒井賢太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

道路公債法

第一條 國道改良費支辨又ハ國道、府縣道若ハ市ノ重要街路ノ改良費補助

ニ關スル經費支辨ノ爲政府ハ二億八千二百八十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ

又ハ之カ繰替支辨ノ爲借入金ヲ爲スコトヲ得

第二條 前條ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場

合ニ於テハ前條ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

〔小字ハ特別委員ノ修正、ハ同削除ノ符號ナリ〕

電信事業公債法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十五日

右特別委員長

荒井賢太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

電話事業公債法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十五日

右特別委員長

荒井賢太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

朝鮮事業公債法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十五日

右特別委員長

荒井賢太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

臺灣事業公債法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十五日

右特別委員長

荒井賢太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

權太事業公債法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十五日

右特別委員長

荒井賢太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

大正五年法律第四號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十五日

右特別委員長

荒井賢太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

國債整理基金特別會計法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十五日

右特別委員長

荒井賢太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

家祿賞典祿處分法施行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十五日

右特別委員長

荒井賢太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

鐵道國有法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十五日

右特別委員長

荒井賢太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

京釜鐵道買收法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十五日

右特別委員長

荒井賢太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔荒井賢太郎君演壇ニ登ル〕

○荒井賢太郎君 唯今議題ニ上ホリマシタ案ハ多數デゴザリマスカラ、混雜ヲ避クル爲ニ、各案毎、若クハ同種ノ案毎ニ纏メマシテ、委員會經過ノ顛末ヲ御報告申上ゲヤウト思ヒマス、第一ハ國債償還ノ繰入ヲ爲サザルコトニ關スル法律案、本案ハ大正九年度ヨリ大正十二年度ニ至ル四箇年間、國債償還基金ノ繰入ヲ中止スルト云フ案デゴザイマシテ、國防充實ノ經費ノ財源ヲ得ル爲ニ、國際償還基金ハ四箇年間中止スル、斯ウ云フ今回ノ政府ノ財政計畫ニ關聯シテ居ル案デゴザイマス、本案ニ付テハ種々ナル質問モアリマシテ、ソレニ對シテ當局者トノ間ニ應答ガアリマシタ、デ此詳シイコトハ速記録ニ就イテ御覽下サイマシテ、茲ニハ略シマスデゴザイマス、本案ハ斯様ナ次第、國防充實ノ財源ニ充テルト云フコトデアリマスカラシテ、已ムヲ得ザルモノトシテ委員會ハ可決ヲイタシマシタノデゴザイマス、ソレカラ次ハ事業公債金特別會計法中改正法律案、デ本案ハ從來事業公債法ニ依リマシタル公債金ヲ一ノ特別會計トシテ整理統一ヲシテ居リマシタ、トコロガ此公債中ニ高等教育機關ノ擴張ニ要スル公債ノ如キハ之ヲ事業公債ト稱スルコトハ出來ナイ、其爲ニ是等ノ公債ハ矢張一般會計デ取扱フテ居ルノデゴザイマスガ、斯クテハ不便デアアルカラシテ、矢張此事業公債特別會計法中ニ一纏メニシテ入レテ、特別會計トシテ整理ヲイタシタイ、斯ウ云フ趣意ノ法案ノ改正ガ出マシタノデ、其爲ニ第一條ノ從來「事業公債法ニ依ル公債金」トアリマシタノヲ「各種ノ經費ノ支辨ニ充ツヘキ公債金」ト斯ウ云フコトニ改正ニナリマシタ、サウイタシマスルト、事業公債法ニ依ルモノ以外ノ公債金モ此中ニ這入ル、斯ウ云フコトニナリマス、デ他ノ各條ノ改正ハ其結果ニ外ナラナイノデアリマス、唯此大正五年ノ法律第四號、即大正三年ノ臨時事件費ノ公債ノ如キ特殊ノモノニ於キマシテハ此中ニ入レナイト云フ除外例ヲ設ケテアルダケノコトデアリマ

ス、本案ニ付テハ別段質問モアリマセズ委員會ハ可決イタシマシタ次第  
デアリマス、次ニ電信事業公債法案、電話事業公債法中改正法律案、此兩案  
ヲ束ネテ委員會經過ノ顛末ヲ御報告申上ゲマス、電信事業公債法ハ、電信ノ  
擴張及ビ改良費支辨ノ爲ニ、七千三百万圓餘ノ公債ヲ募集スル、斯ウ云フ案  
デアリマシテ、電信事業ノ擴張改良ノ爲ニ公債ヲ募集スルト云フコトハ、今  
回ガ始メテデゴザイマス、デ此案ハ初メテ提出セラレマシタ案デゴザイマス、  
是ニ付テハ政府當局ヨリ詳細ノ説明ガアリマシタ、デ此金額ヲ以テ七箇年度  
ノ繼續費トシテ今日ノ電報通信ノ阻碍ノ、甚シイ障礙ヲ排除ク爲ニ、機械力  
ノ擴張、其他改善ノ施設ヲイタス、斯ウ云フコトデアアルノデアリマス、ソレ  
カラ電話事業公債法中改正法律案ハ、從來公債財源ヲ以テ電話ノ擴張ヲイタ  
シテ居リマシタノヲ、今回更ニ二億二千五百五十万圓ヲ追加イタシマシテ、  
更ニ電話ノ擴張ヲイタス、斯ウ云フコトノ爲ニ、此公債法ノ改正ヲ要スルノ  
デアリマス、右兩案共豫算ニ繼續費トシテ請求シテアリマスノデゴザイマシ  
テ、是ハ已ムヲ得ナイモノト認メマシテ、此公債法ハ兩案トモ可決ヲイタシ  
マシタコトデゴザイマス、次ハ朝鮮事業公債法中改正法律案、臺灣事業公債  
法中改正法律案、樺太事業公債法中改正法律案此三條ヲ纏メテ御報告申シマ  
スガ、是モ孰レモ豫算ニ關係イタシマシタ案デゴザイマシテ、今回提出ニナ  
リマシタ豫算案ニ其經費ヲ見積ツテアリマス、即チ朝鮮ニ於キマシテハ鹽田ノ  
擴張デアルトカ、警察官署ノ新營、監獄署ノ新營等ノ爲ニ公債財源ノ増加ヲ  
要スルト云フコトデ、此改正法案ガ出マシタ、ソレカラ臺灣ニ於キマシテハ、  
矢張り鐵道ノ建設、基隆ノ築港ノ追加工事ト云フモノ、爲ニ、此公債額ノ増  
加ヲ要スル、斯ウ云フコトニナリマシテ、此公債改正法律案ヲ提出イタシマ  
シタ、ソレカラ樺太ニ於キマシテハ、大泊港ノ修築、鐵道線路ノ變更ノ爲ニ  
是ダケノ公債ノ募集ヲ要スル、斯ウ云フコトデアリマス、是等ハ孰レモ本年  
度ノ豫算ニ繼續費トシテ要求シテアリマスノデ、已ムヲ得ナイモノト認メマ  
シテ、委員會ハ可決ヲ致シマシタ、併ナガラ此朝鮮事業公債法中ニハ從來會  
テ無カリシ所ノ警察署ノ新營費デアルトカ、或ハ監獄署ノ新營費デアルトカ、  
是等普通ノ財源ヲ以テ支辨スルヲ正當ト認ムルモノガ、今日ハ公債財源ヲ以  
テ支辨スルコトニナツテ居リマス、此點ニ付テ政府當局者トノ間ニ質問應答ガ  
アリマシタガ、是ハ朝鮮特殊ノ事情ニ顧ミマシテ已ムヲ得ナイモノト認メテ、  
委員會ハ可決スルガ、併シ委員會ノ、將來ニ向ッテ一ノ希望ヲ提出イタシタイ

ト云フノデ、委員會ノ決議ヲ以テ希望ヲ附シテ決議イタシマシタ、其希望ヲ  
茲デ朗讀イタシマス、今回ノ朝鮮事業公債中ニハ監獄新營費等、普通歲入ヲ  
以テ支辨スルヲ正當ト認ムル經費ヲ計上セリ、今回ハ朝鮮特殊ノ事情ニ顧ミ  
已ムヲ得ストスルモ將來此種ノ經費ハ公債ニ依ラサルコトヲ希望ス、斯ウ云  
フ希望ヲ附ケテ可決イタシマシタ、次ハ大正五年法律第四號中改正法律案、  
本案ハ今回追加豫算ヲ以テ提出セラレマシタ臨時事件費ノ追加、竝ニ薩哈噠  
州ノ要地ノ占領ニ要スル費用ト云フモノノ爲ニ其財源ニ充ツル爲ニ、公債額  
ヲ増加スル、斯ウ云フデアリマス、是ハ既ニ豫算ニ計上サレテアリマスル  
コトデアリマス、已ムヲ得ナイモノト認メマシテ、本案ハ可決ヲ致シマシテ  
ゴザイマス、ソレカラ次ハ國債整理基金特別會計法中改正法律案、家祿賞典  
祿處分法施行法中改正法律案、鐵道國有法中改正法律案、京釜鐵道買收法中  
改正法律案、此案ニ付テ委員會ノ經過ノ顛末ヲ申上ゲマス、國債整理基金特  
別會計法中改正法律案ハ、國債整理基金ノ第五條ニ、國債ノ借換ヲ致ス時分  
ニハ計算上利益アリト認ムル場合ニ限ツテ借換ヲ致ス、斯ウ云フコトニナツテ  
居リマス、然ルニ計算上利益アリト云フコトハ、如何ナル場合ニ於テ計算上ニ  
利益アルカト云フコトヲ見ルコトガ甚ダ困難デアアル、或ハ利率ノ點デ見タリ、  
或ハ發行價格ノ點ヲ参照シタリシテ、常ニ計算上利益アリト云フコトハ頗ル  
見方ニ依ツテ異ナルノデアアル、ソレノミナラズ、公債ノ整理借換ヲ要スルコト  
ハ、計算上假令利益ナシト雖モ整理借換ヲ要スル場合ガ今後生ズル、即チ短期  
公債ノ整理ノ如キハドウシテモ借換ヘナクテハナラス、計算ノ利益ノ有無ニ  
拘ハラズ、借換ヲ要スル時ガ生ズルカラ、ソレデ此條文ヲ改正シテ、今回提出  
ニナリマシタヤウナ「國債ノ整理又ハ償還ノ爲ニ必要ナル額ヲ限度トシ起債ス  
ルコトヲ得」、斯ウ云フヤウニ改正シテ有利云々ト云フコトハ之ヲ改メ、斯  
ウ云フ趣意デ提案ニナリマシタ、ソレト今一ツハ正條文中ニハ直接ニ現ハ  
レテ居リマセスケレドモ、現行法ノ第五條ハ三項ニ分レテ居リマス、其第二  
項第三項ハ……今回ノ改正案ハ第五條ハ一項ダケニナリマシタカラ、當然第  
二項第三項ハ削除ニナツタデアリマス、其第二項第三項ト申シマスノハ整理  
公債條例ヲ適用スルト云フコト、ソレカラ公債ノ形式様式等ニ付テ規定シタ  
項デアリマス、是等ハ一般ノ國債法ガ今日ハアリマスカラ、整理公債條例ノ  
適用ヲ必要トシナイ、斯ウ云フコトカラシテ削除ニナリマシタ、ソレカラ附  
則ニ「大正五年法律第二十四號ハ之ヲ廢止ス」、斯ウ云フコトガアリマスノハ、

内國債ノ借換ヲ外國ニ於テ致ス場合ニ於テハ、今日ニ於テモ現ニ此大正五年法律第三十四號ヲ以テ唯今改正ニナッタト同様ノ趣旨ノコトガ規定シテアリマス、ソレ故ニ今回本案ニ改正ヲ加ヘタ以上ハ、此特別ノ法律ハ不必要デアルト云フコトデ廢止ニナリマシタ譯デゴザイマス、ソレカラ「本法施行前國債整理基金特別會計法ニ依リ發行シタル國債ノ元金ノ消滅時効ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル」トアリマスノハ、今回ノ改正案デ唯今申上ゲタヤウニ整理公債條例ノ適用ヲ廢シマシタ所ガ、是マデ發行イタシマシタモノハ整理公債條例ニ依ッテ居リマスカラ、其消滅時効ハ十五箇年ニナッテ居リマス、今後ハ一般ノ國債法ニ依リマシテ消滅時効ハ十年ニナリマス、ソレ故ニ今マデ發行イタシマシタ所ノモノ、消滅時効ヲ今後新法ニ依ルト云フコトハ穩當デナイカラシテ、是ダケハ仍ホ從前ノ例ニ依ルト云フコトニ規定シタノデ、詰リ整理公債條例ノ適用ヲヤメルコト云フコトカ、特ニ此附則ノ時効ト云フコトハ仍ホ從前ノ例ニ依ルコトニナッタノデアリマス、法文ハ入込デ居リマスガ、趣意ハ其通デアリマス、ソレカラ家祿賞典祿處分法施行法中改正法律案、是モ唯今説明ヲ申シマシタト同様ノ理由デアリマシテ、矢張り整理公債條例ノ適用ヲ廢シマシタノデゴザイマス、此一般ノ公債法ニ依ル爲ニ整理公債條例ヲ適用スト云フ條項ヲ廢シタ、斯ウ云フコトデアリマス、ソレデ唯法文ノ甚ダ入込ンテ居リマスノハ、整理公債條例ノ適用ヲ廢シマシタ結果、此家祿賞典祿處分ノ爲ニ發行サレタル公債ヲ、整理公債條例ニ依ッテ五箇年間据置キ、五箇年ニ償還スルコトニナルノデアリマス、然ルニ整理公債條例ノ適用ヲ廢スルト云フコトニナリマシタカラ、其事ダケヲ第五條ノ第二項ニ整理公債條例ノ適用ヲ廢スルト云フコトノ代リニ、「前項ノ公債ハ發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内ニ之ヲ償還ス」ト、此法律ニ入レラレタ譯デアリマス、ソレカラ鐵道國有法中改正法律案、是ハ矢張り國債整理基金ノ……會計ノ基金法ノ改正ニ依テ借換ヘノ規定ヲ改メマシタ爲ニ、矢張り最早鐵道國有法中ニアリマス借換ノ規程ハ存置シテ置ク必要ハナイカラ之ヲ削ッタト云フコトデ、モウ一ツ整理公債條例ノ適用ヲ削リ、「適用ス」ト云フ條文ヲ削ル、此二箇條デゴザイマス、ソレカラ京釜鐵道買收法中改正法律案モ、矢張り社債ノ借換及ビ整理公債條例ノ適用ヲ削ル、此二箇條デ、是ハ皆同一ノモノデアリマス、此四案ハ右申上ゲマシタヤウニ、從來ノ法律ヲ整理シタモノデアリマス、別段異議ナク委員會ニ於テハ可決ヲ致シマシタ、最後ニ此道路公債法

案ノ委員會ノ經過ヲ申上ゲマス、道路公債法案ハ國道ノ改良費支辨又ハ國道、府縣道、若クハ市ノ重要ナ街路ノ改良費補助ニ要スル爲ニ、二億八千二百八十万圓ヲ限ッテ公債ヲ發行シ若クハ借入金ヲ爲スコトヲ得ト、斯ウ云フ法律デアリマス、ソレニ本案ニ付キマシテ政府當局ノ説明ニ依リマスレバ、今後三十箇年ヲ期シテ全國ノ國道ノ改良……同ジク國道ノ改良費ノ補助、又府縣道ノ改良費補助其他六大都市ノ街路ノ改良費ノ補助、是等ヲ合セテ今後三十箇年間ニ二億八千二百八十万圓ヲ限ッテ公債ヲ發行スル、即チ唯今ノ改良ニ要スル費用ヲ今後三十箇年間ニ二億八千二百八十万圓ヲ丁度要スルコトニナル、其全部ハ公債發行シテカラニ之ヲ財源トシテ道路ノ改良ヲ致ス、斯ウ云フコトデアリマス、然ルニ此二億八千二百八十万圓ト云フモノハ、政府部内ニ於ケル調書、書類又ハ政府當局者ノ説明ニ依テ、唯今申上ゲマシタヤウナ費途ニ使用スルコトガ分リマシタノデゴザイマスルガ、何等議會ニ公ニ提出セラレマシタ書類ノ中ニ於キマシテ、此計算ノ根據ヲ認ムベキモノハナイノデゴザイマス、ソレデ先例ニ依リマス、公債法ニ於テ公債額ヲ定ムル時分ニハ、必ズ何等カ議會デハ公ノ書類デ其計算ノ根據ト認ムベキモノガアリマシテ、ソレニ依テ定メテ居リマス、例ヘバ法律ヲ以テ其根據ト認ムベキ費用ニ理由アリ、又ハ豫算ニ計上シテアッテ、繼續費其他ノ計算ニ依ッテ豫算ニ計上シテアル、ソレニ基イテ此公債ノ總額ト云フモノガ明カニ認メラレ得ル、サウ云フ公ノ書類ニ依ッテ公債額ヲ決メテ居リマス、然ルニ此道路公債法ハ今年度ノ道路公債法ニ依ル公債ノ費用ト云フモノハ、今年度ニ追加豫算トシテ提出サレタ豫算ノ中ニ唯二百五十萬圓ダケガ改良費トシテ豫算シテアリマス、其以外ニ於キマシテハ豫算ノ上ニ於テ認ムベキモノハナイノデゴザイマス、デ固ヨリ是ハ内務省ニ於テハ精密ニ調査サレタノデアリマセウケレドモ、ソレハ未ダ政府部内ノ書類ニ止マルノデ、何等議會ノ審査ノ權能ニ上スベキ書類デナイノデゴザイマシテ、斯ノ如キ例ハ未ダ嘗テナイノデゴザイマス、事業公債ニ付テハ少ナクトモ其額ヲ定ムルコトハ、豫算ニ計畫ヲ具シテ繼續費等ノ形式等ヲ以テ請求サレテアル、或ハ又法律ニ其計算ノ根據ヲ示スベキ法律ガアル、孰レカ議會ニ於テ審査シ得ルベキ書類ニ基イテ額ヲ定メテアリマス、今回ノ如ク單ニ内務省部内ノ調書ニ依テ額ヲ定ムルト云フヤウナ先例ハナイノデアリマス、ソレ故ニ此點ニ付テ委員會ハ大ニ苦シマシテ種々當局者ノ間ニ質問應答ヲ重ネ、又懇談會モ開キマシテ、其結果委員會ハ二億八千二百八十

万圓ヲ限ルト云フコトノ總額ヲ削リマシテ、其代リニ「當該經費豫算ノ範圍内ニ於テ」修正ヲ致シマシタ、即チ「政府ハ二億八千二百八十万圓ノ限リ公債ヲ發行シ」ト原案ニアリマシタノヲ、「政府ハ當該經費豫算ノ範圍内ニ於テ公債ヲ發行シ」、斯ウ云フコトニ修正ヲ致シマシタ、其修正ノ理由ヲ一委員ヨリ敷衍シマシテ、道路改良ト云フコトハ固ヨリ異議ノナイコトデアッテ、寧ロ贊成ヲスル者デ、ソレガ爲ニ公債ノ募集ヲ要スルコトデアレバ是亦已ムヲ得ナイカモ知レナイ、併ナガラ茲ニ原案ノ二億八千万餘圓ヲ認メルト云フコトハ如何ニモ其形式上據ルベキ書類ガナイ、ソレデ何等カ豫算デ……豫算ニ於テ工事ノ計畫ヲ具備シテ出サルレバ、ソレニ依テ適當ノ審査ヲシテ額ヲ決定スルコトモ出來ルケレドモ、今日ニ於テハソレ等ノ書類ハ何等議ニ上ッテ居ラヌノデアアル、唯政府當局内ノ調書ニ止マル書類ニ依テ、此額ヲ決定スルコトハ出來ナイニ依ッテ、斯ノ如ク修正シテ總額ヲ削リ、サウシテ「當該經費豫算ノ範圍内ニ於テ」トスレバ豫算ノ審査ト相待ッテ毎年度ノ公債額ヲ確定スルコトガ出來ル、斯様ニイタシテ置ケバ、敢テ道路改良工事ノ實行ニ支障ヲ來タス憂ガナイカラ、斯ウ云フ風ニ修正ヲ致シタイ、斯ウ云フ意味ヲ以テ唯今申上ゲマシタ修正案ヲ提出ニナリマシタ、之ニ付キマシテ可否ノ決ヲ探リマシタ所ガ、全會一致ヲ以テ委員會ハ此修正案ヲ認メタ次第デ、道路公債法ダケハ修正議決ヲ致シマシタ、以上十三案ノ中、多數ノ案ハ何レモ公債ノ募集ヲ增加スルト云フ案デゴザイマスカラシテ、委員會ハ將來ノ公債ノ増加ニ伴ッテ、公債ノ價格維持、即チ償還方法ニ付テ政府ニ對シテ種々ナル質問ヲ致シ、又考慮ヲ求メタコトガアリマス、其結果トシテカラニ、或委員ヨリ政府ニ對スル希望ガ出マシテ、其希望ハ委員會一致ノ決議ヲ致シマシテ、委員會ノ希望トシテ併セテ報告ヲ致ス、斯ウ云フコトデアリマス、其希望ヲ茲ニ朗讀ヲ致シマス、「財政ノ膨脹ニ伴ヒ公債ガ漸次増加ノ傾向ヲ免レザルヲ以テ、價格低落ノ恐アルニ付、政府ハ公債ノ需要ヲ喚起スルノ目的ヲ以テ、貯蓄銀行保險會社等法律命令ノ結果ニ依リ準備金積立金等ヲ爲スモノニハ公債ヲ限定シテ之ニ充當セシムル途ヲ講ゼラレムコトヲ希望ス」斯ウ云フ希望ヲ附シテ十三案ヲ可決シ、道路公債法案ヲ修正議決ヲ致シマシタ、以上委員會ノ結果顛末ヲ御報告ヲ申上ゲマス

○男爵阪谷芳郎君 チョット委員長ニ御尋ネシマス  
○議長(公爵徳川家達君) ドノ法案ニ付テデアリマス

○男爵阪谷芳郎君 此法案ニ付キマシテ……

○議長(公爵徳川家達君) 此法案ハ澤山アリマスガ……

○男爵阪谷芳郎君 澤山ナ法案ニ付テ……

○議長(公爵徳川家達君) チョット御待チ下サイ、諸君ニ御諮リヲシタイコトガゴザイマス、此際議長ハ諸君ニ御諮リヲ致シタイノデアリマス、委員長ノ報告ハ諸君ノ御同意ヲ得マシタカラ、日程第十三ヨリ第二十五マデ一括シテ報告ヲ煩ハシマシタガ、唯今議題ト致シマスノハ、日程第十三ト第十四、此兩法案ニ致シタイト考ヘマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガナイト認メマス、付キマシテハ阪谷男爵ニ伺ヒマスガ、阪谷男爵ノ將ニ質問セラレムトスル法案ハ第十三第十四ノ兩案デゴザイマスガ、サウデナケレバ後ニ願ヒタイト思ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 十三ノ中デ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス、此際願ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 唯今委員長ノ報告ニ依リマス、將來公債ヲ澤山増ス、斯ウ云フ御報告ガアリマスガ、此贊否ヲ決シマス上ニ付キマシテ、公債ノ計畫ヲ承ハッテ置キタイノデアリマス、此十三ニ依リマス、繰入金ニ止メラル譯ニナリマス、其他ノ公債案ニ依リマス、又公債ガ増スト云フヤウニナッテ居リマス、此總高ガドノ位ニ増シマスガ、又財源ハドウ云フ財源ニナッテ居リマスガ、又募集ニ付テノ利廻リハドウ云フ見込ニナッテ居リマスガ、ソレカラ政府ノ計畫シテ居ル公債ヲ併セテ、全部償還シ終ルニハ何年掛カリマスガ、公債償還計畫ハ年々大藏省デ定メテアル、委員長ノ報告ノ中ニチョット其事ガ見エマシタケレドモ、計數ヲ承ハリマセヌ、又速記録ニモ出テ居ラヌヤウデアリマス、便宜ノ爲メ簡單デ宜シウゴザイマスカラ、チョット委員長カラ御答ヲ願ヒマス

○荒井賢太郎君 唯今ノ御質問ニ御答ヘイタシマスガ、此公債ノ將來ノ償還ト云フコトニ付キマシテハ、委員會ニ於キマシテ、大藏大臣ニ對シテ種々質問ヲ致シマシタ、此償還資金ヲ四箇年ニシタ爲ニ、直チニ國債ノ償還ニ支障ヲ來タスヤウナコトハアリマセヌカト、斯ウ云フ質問ヲ致シマシタ所ガ、之ニ對シテ大藏大臣ハ、國債償還資金ヲ四箇年ニ致シマスノデ、差當リ國債ノ償還ニ必要ト思フモノハ、大正十四年度ノ四分半利付英貨公債ノ償還デアアル、

是ハ今日約三億八千万圓ト云フヤウナ償還未済ノモノガアリマス、之ニ對シテ政府ハ適當ノ中ニ借換ヲスル積リデアアルガ、若シ借換ヲシ得ナカッタナラバ、預金部ニ於テ之ヲ支出スル餘地ガアル、今日預金部ニ於テ保留シテ居ル正貨ハ約四億圓ニ垂ントシテ居ッテ、萬一借換ガ出來ナイ場合ハ預金部デ之ヲヤルト云フ、斯ウ云フ見込デアアル、ソレデアアルカラ四箇年ニ支障ヲ來シマシテモ先ヅ差當リ國債償還ヲスルニ差支ヘラズ生ズルト云フコトハナイ、尙ホ四年ノ後ニナレバ、大正十三年度ヨリハ必ズ國債償還資金繰入ヲ復活スル見込デアアル、サウ致セバ此爲ニ國債償還ニ支障ヲ生ズルコトハナイ、斯ウ云フ御意見デアリマシタ、其他國債償還ハ何年度限リニナツタカト云フコトハ、明細ノ書類ヲ示サレマシタガ、今日ハ持ッテ居リマセヌ、是等ガ必要ナラバ政府ニ御質問ヲ願ヒタイ、兎ニ角委員會ハ此公債ハ非常ナ多額ニ上ルノデアアルガ、今日豫算ニ於テ既ニ認メラレマシタモノデアリマシテ、其費用ガ必要デアアル、已ムヲ得ヌモノデアリマスカラ、仕方ガアルマイ、斯ウ云フノデ議決ヲシタノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十三及ビ第十四ノ法案ノ第二讀會ヲ開クトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○荒井賢太郎君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○荒井賢太郎君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ニ問題ニ供シマスノハ日程第十五、道路公債法案、本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○荒井賢太郎君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 全部ヲ問題ニ供シマス、委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、是デ第二讀會ヲ終リマシタ

○荒井賢太郎君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ニ御諮リヲ致シタイノハ日程第十六ヨリ日程第二十五マデ一括致シテ議題ト致シマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第十六ヨリ第二十五マデノ案ヲ第二讀會ニ移シテ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○荒井賢太郎君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議案全部ヲ問題ニ供シマス、全部御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○荒井賢太郎君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十六、成田鐵道及中越鐵道買収ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、平井晴二郎君

ノ登壇ヲ望ミマス

成田鐵道及中越鐵道買収ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十六日

右特別委員長

平井晴二郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔平井晴二郎君演壇ニ登ル〕

○議長(公爵徳川家達君) 平井晴二郎君ノ登壇ヲ求メマシタガ、茲ニ諸君ニ御諮リヲ致シタイコトゴザイマス、鐵道敷設法中改正法律案ノ特別委員會ノ報告ヲ致サレル時ニ、報告漏ノ點ガアル趣デゴザイマス、日程ハ既ニ済ミマシタガ、此際報告ヲ追加シテ差支ナカラウト考ヘマスガ、念ノ爲メ諸君ニ御諮リヲ致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマスカラ平井君ニ報告ノ漏レノ追加ヲ許シマス

○平井晴二郎君 唯今問題ニナリマシタル法律案ハ、成田鐵道及中越鐵道ヲ買収セムトスル案デアリマス、此兩鐵道買収ニ付テ一番必要ナル點ハ買収ノ必要如何ト云フ問題デアッテ、此點ニ關シ政府ノ説明ヲ求メマシタノデゴザイマス、政府ノ説明スル所ニ依レバ、成田鐵道ハ此東京ノ近傍ニ於ケル、旅客ノ可ナリ多イ成田ヲ中心トシテ居ル鐵道デアッテ、旅客ノ便利ノ爲ニ現在兩國驛並ニ上野驛カラ直通ノ列車ヲ發シテ居ルガ、併シ管理ヲ異ニシテ居ルガ爲ニ、公衆ノ十分ナル便利ヲ圖ルコトヲ得ナイガ故ニ、此鐵道ヲ買収セムトスルノデアル、次ニ中越鐵道ハ其線路ノ中高岡カラ伏木ニ至ル僅カ五哩ノ部分デハアルガ、此伏木港ナルモノガ現在ハ餘程出入ノ貨物ガ多クナッタノデ常ニ……常ニトハ申シマセヌガ往々高岡驛ニ一萬噸乃至四千噸ノ貨物ガ滯貨スル、之ヲ速ニ伏木港ニ送ラムトスルニハ大分ナ線路ノ改良モ要スル次第デアルガ、寧ロ此際之ヲ政府ニ買収シテ相當ノ改修ヲ加ヘタ方ガ公衆ノ便利又國家ノ利益トナルガ故ニ、此兩鐵道買収法案ヲ提出シタイト云フコトデアリマス、委員會ハ尙ホ今ノ政府ノ見込ニ於テハ此鐵道ヲ買収スルニ付テドノ位ノ價額ニナルドラウカト云フ質問モアリマシタ、此點ニ付キマシテ、未ダ買収

ノ期日モ極ツテ居リマセヌ故ニ、確實ナル數ハ……價額ハ分ラヌ、併ナガラ凡ソ成田鐵道ハ六百萬圓バカリノ公債ヲ支拂ツタ宜イ積リデアアル、又中越鐵道ハ約七百萬圓ト云フコトデアリマス、此數ハ前申上ゲマシタ如ク、買收ノ期日ガ極ツテ、愈々清算ヲシタ曉ニハ多少ノ増減ハ免レヌコトデアリマセウト思ヒマス、委員會ハ本案ニ付キマシテハ、何等異議ナク全會一致ヲ以テ可決イタシマシテゴザイマス、此段御報告申上ゲマス、尙ホ此際議長ノ許可ヲ得マシテ、鐵道敷設法中改正法律案ノ委員會ニ於テ希望ガ出マシテ、此希望ハ全會一致ヲ以テ可決シタノデアリマス、而シテ其希望ハ二箇條ニ互ルノデアリマス、一ツハ此敷設法ヲ審議スルニ當リマシテ、ドウシテモ輕便鐵道ヲ離レテ敷設法ニ依ル鐵道ノミヲ以テ審議スル譯ニハイカヌ、デ勢ヒ輕便鐵道ノ問題マデニモ移ラナケレバナラヌ、然ルニ此輕便鐵道ナルモノ、法律上ノ根據ガ明カナラヌガ故ニ、政府ハ速ニ鐵道敷設法ヲ改正スルカ、若クハ其他ノ方法ニ於テ輕便鐵道ノ法律上ノ根據ヲ明カニスベキコト、ソレニ付キマシテハ又審議上輕便鐵道ノ豫算ヲモ調ベマシタガ、御承知ノ如ク輕便鐵道ノ豫算ト云フモノハ、輕便鐵道ト云フ一目ノ下ニアルノデアアル、而シテ今回ハ一億五千有餘萬圓ノ追加ヲサレテ、九年度以後ノ豫算ガ二億二千萬圓位ニ上ルノデアアル、斯ク巨額ノ金額ガ一目ノ下ニアルト云フコトハ甚ダ穩カデナイ、此豫算ノ編成ニ付テモ政府ハ速ニ改善ノ方法ヲ取ラムコトヲ希望スル、是ガ輕便鐵道ニ對スル一ツノ希望デアリマス、次ニハ工事ノ施行方法ニ付テゴザイマスガ、地方ノ鐵道、殊ニ輕便鐵道ノ如キハ成ルベク多ク敷設サレルト云フコトハ地方民衆ノ望ム所ニハ違ヒナイ、是モ政府モ亦此意ヲ諒シテ今回二十一線モ輕便鐵道ヲ提出サレタ次第デアアル、然ルニ此地方ノ豫定線若クハ特ニ輕便鐵道ニ於テハ、安全ヲ主トスルト云フコトハ勿論デアアルガ、動モスレバ工事ノ施行上虚飾ト云フト、或ハ語弊ガアルカ知レヌガ、美術的ニ互ルヤウナ虞ガアル、ソレガ爲メニ建設費ヲ多クスルト云フ虞ヲ有ツガ故ニ、將來施行上ニ付テハ安全ヲ第一トシテ虚飾ニ互ルヤウナコトハ避ケテ、成ルベク費用ヲ節シテ貫ヒタイ此ノ二ツノ條件ガ……希望ガ全會一致ヲ以テ政府ニ提出シタ次第ゴザイマス、先キニ報告イタスベキノヲ失念イタシマシテ甚ダ恐縮デゴザイマスルガ、唯是レダケヲ申上ゲテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告順ニ依リマシテ發言ヲ許シマス、矢口長右衛門君、登壇ヲ望ミマス

〔矢口長右衛門君演壇ニ登ル〕

○矢口長右衛門君 本員ハ本案ニ反對スルモノデハゴザイマセヌ、否帝國鐵道ノ政策カラ申シマシテ、帝國ニ取ツテ緊要ナル線路ハ適當ナル時機ニ於テ帝國財政ノ許ス限リ之ヲ進ンデ買收シ、而シテ以テ我ガ鐵道ノ完成ヲ期スルト云フコトノ意見ヲ持ツテ居ルモノデゴザイマス、然レドモ過日質問ノ際ニモ一言注意ヲ……一二ノ事ヲ申述ベテ置キマシタガ、鐵道買收ト云フコトハ小鐵道デスラモナカナカ容易ナモノデナイ、況ンヤ此成田中越ノ如キハ、私設鐵道トシテハナカナカ堂々タル鐵道デアアル、之ヲ徒ニ散漫ニ計算ヲセムカ、國家ニ於テハ必ズ非常ナル損失ヲ招クト同時ニ、或ハ其間ニ一ツノ疑議ト云フヤウナモノヲ産ムト云フ……産ムヤウナ場合ガナイトモ限ラヌガ、若シ反對ニ之ヲ過酷ニ取扱フ、法律ヲ極ク狭ク解釋シテ過酷ニ之ヲ取扱ツタナラバ、是ハドウデアアルカ、株主ハ是ガ爲メニハ非常ニ苦痛ヲ感ジナケレバナラヌ、又會社トシテ商法ノ保護ノ下ニアル會社ガ必ズソレダケノ非常ナル損害ヲ蒙ムルト云フコトデアアル、此買收ト云フコトニ付キマシテ非常ニ深甚ナル所ノ注意ヲ拂フト云フ必要ガゴザイマス、ダカラ當局ニ於テハ此兩者ニ於テ兩極端ニ失セザルヤウニ、十分此邊ニ付テ御注意ヲ拂ハレムコトノ本員ハ希望ヲ持ツテ居リマス、本案ニ付キマシテハ、委員長ノ報告通リ何等異議ハゴザイマセヌ、進ンデ賛成ヲ致スノデゴザイマス、此所ニ一言當局ニ希望ヲ述ベテ本案ニ賛成ヲ致ス次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵櫛笥隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳岡隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議ノ通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是ニテ休憩ヲ致シマシテ、午後一時三十分ヨリ開會イタシマス

午前十一時四十九分休憩

午後一時三十五分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

本日本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ之ヲ奏上シ又承諾スヘキモノト議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大正七年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

求ムル件)

大正七年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度帝國鐵道特別會計積立金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度帝國鐵道特別會計積立金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

本日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ之ヲ衆議院ニ回付セ

リ

道路公債法案

本日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大正八年法律第五號中改正法律案

鐵道敷設法中改正法律案

朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律案

北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案

國債償還資金ノ繰入ヲ爲ササルコトニ關スル法律案

事業公債金特別會計法中改正法律案

電信事業公債法案

電話事業公債法中改正法律案

朝鮮事業公債法中改正法律案

臺灣事業公債法中改正法律案

樺太事業公債法中改正法律案

大正五年法律第四號中改正法律案

國債整理基金特別會計法中改正法律案

家祿賞典祿處分法施行法中改正法律案

鐵道國有法中改正法律案

京釜鐵道買收法中改正法律案

成田鐵道及中越鐵道買收ニ關スル法律案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス日程第二十七、明治四十一年法律第三十七號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ

續、委員長報告

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十六日

右特別委員長

伯爵清樓 家教

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔小字ハ委員會修正〕

明治四十一年法律第三十七號中左ノ通改正ス

第一條中「百分ノ十三」ヲ「百分ノ三十四」ニ、「百分ノ三十二」ヲ「百分ノ八十  
三」ニ、「四十錢」ヲ「一圓」ニ、「百分ノ九」ヲ「百分ノ二十八」ニ、「百分ノ二十  
一」ヲ「百分ノ六十六」ニ改ム

第二條中「百分ノ十一」ヲ「百分ノ二十九」ニ、「百分ノ十五」ヲ「百分ノ四十七」  
ニ改ム

第三條中「百分ノ四」ヲ「百分ノ三、六」ニ、「百分ノ十五」ヲ「百分ノ十四」ニ改ム

第六條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定  
ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

附則

本法ハ大正九年度分ヨリ之ヲ適用ス

大正八年法律第二十九號ハ大正八年度分限リ其ノ效力ヲ失フ

大正九年七月三十一日迄ニ制限外課税ノ許可ヲ受ケタル大正九年度分ノ地  
租附加税 營業税附加税、所得税附加税又ハ段別割ノ賦課率又ハ賦課額ハ

從前ノ規定ニ依ル制限率又ハ制限額ヲ通シテ本法ニ依ル制限ヲ超過セサル  
トキハ之ヲ制限内ノ賦課率又ハ賦課額ト看做シ其ノ制限ヲ超過スルトキハ

其ノ超過部分ニ限り之ヲ本法ニ依リ許可ヲ受ケタル制限外ノ賦課率又ハ賦  
課額ト看做ス但シ大正八年法律第二十九號ニ依リ制限外課税ノ許可ヲ受ケ

タル所得税附加税ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用ス

〔伯爵清棲家教君演壇ニ登ル〕

○伯爵清棲家教君 明治四十一年法律第三十七號中改正法律案ノ委員會ノ經  
過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、此委員會ハ二回開會ヲ致シマシテ、提出ノ

理由ニ付キマシテ、内務大臣竝ニ政府委員ヨリ詳シイ御辯明ヲ聽イタノデゴ  
ザイマスル、續キマシテ質問應答ガゴザイマシタガ、是等ハ速記録ニ載セテ

ゴザイマスルカラ、速記録ヲ御承知ヲ願ヒタイノデゴザイマス、尙ホ提出ノ  
理由ニ付キマシテハ曩キ本議場ニ於キマシテ内務大臣ヨリ詳シク御辯明ガ

ゴザイマシタガ、其主タル理由ト致シマスル所ハ時勢ノ進運ニ伴ヒマシテ、  
府縣及ビ市町村ニ於キマシテ經費ヲ要スルノデゴザイマス、ノミナラズ物價

騰貴ノ爲ニ吏員ノ増俸ヲシナケレバナラヌ事柄ニ立至ッタガ爲ニ、現在府縣及  
ビ其他ノ公共團體ニ於キマシテハ、非常ニ財源ニ苦ンデ居ル次第デゴザイマ

ス、ソレ故ニ曩ニ法律トナツテ居リマスル所ノ三十七號竝ニ昨年法律トナリマ  
シタル所ノ二十九號ト云フモノヲ合シテ現行法ハ實施シテ居ルノデアリマス

ガ、ソレヲ此度改正ヲ致シマシテ、此本案ノ如クシタイト云フノガ即チ此趣  
意デアリマス、就キマシテハ委員會ニ於キマシテ種々質問ガゴザイマシタガ

要スルニ國民ノ負擔ト云フモノハ洵ニ重イ負擔ヲシテ居ル、併ナガラ此法案  
ニ於テ又再ビ一種ノ増税トモ言フベキ負擔ヲ重クスルノハ甚ダ遺憾デアル、

併ナガラ時勢ノ進運ニ伴ヒマシテ、總テノ設備ヲスルト云フコトハ已ムヲ得  
ヌコトデアリマスルノミナラズ、又物價騰貴ノ爲ニ吏員ノ増俸ト云フコトモ

是亦已ムヲ得ヌコト、考ヘマスノデ、ソレ故ニ此改正案ハ相當ト認メマシタ  
次第デゴザイマス、其中ニ付キマシテ委員會デ修正ヲ致シマシタ、即チ修正

ノ簡條ハ諸君ノ御手元ニ配付ニナツテ居ルト存ジマスガ、即チ此改正案ノ第二  
條中云々ト云フコトガゴザイマス、第六條北海道府縣以外云々トゴザイマス

ガ、此二條ト即チ六條ノ間ニ一條ヲ加ヘルノデゴザイマス、即チソレハ現行  
即チ三十七號ノ法案ニ明記シテアル通りノコトヲ此處ヘ書キマスノデゴザイ

マスガ、唯此中デ所得税ニ對スル府縣ノ税率ガ百分ノ四ト書イテゴザイマス、  
ソレカラ市町村ノ方ハ百分ノ十五ト書イテゴザイマスノヲ、即チ委員會ニ於

キマシテハ府縣ニ於キマシテハ百分ノ三「コンマ」六、ソレカラ市町村ニ於キ  
マシテハ、十五ト書イテアルノヲ即チ十四ト改メタノデゴザイマス、其理由

ハ此度ハ所得税法改正案ト云フモノガ提出ニナツテ居リマスノデ、此法案ノ如  
ク致シマスレバ所得税ノ附加税ト云フモノハ非常ニ率ガ高クナル、ソレ故ニ

幾分ナリトモ所得税ニ對スル附加税ヲ輕減シタイト云フ意味ヲ以チマシテ、  
委員會ニ於キマシテハ、現行ノ法律ニ修正ヲ致シマシテ、百分ノ四ト云フノ

ヲ百分ノ三「コンマ」六ト致シマスシ、又百分ノ十五ト書イテアリマスノヲ百  
分ノ十四ト改正ヲシタ次第デゴザイマス、ソレカラ今一ツ此法案ニ於キマシ  
テ現行法ト異ツテ居リマスノハ、制限外賦課ノ許可ヲ得マスニハ、以前ハ市町  
村モ府縣モ同ジク内務大臣ノ兩大臣ノ認可ヲ得ナケレバナラヌノヲ、此法案  
ニ於キマシテハ事務ヲ成ルベク簡易ニスルガ爲ニ、市町村ニ對シテハ其許可  
權ノ一部ヲ地方長官ニ委任ヲスルト云フコトニナツテ居リマス、即チ是等ノ理  
由ニ付キマシテハ、委員會デハ十分ノ審査ヲ遂ゲマシテ、遂ニ斯ノ如ク修正  
ヲ致シマシテ、其他ヲ總テ政府案ノ通り全會一致ヲ以テ可決シタ次第デゴザ  
イマス、此段ヲ御報告ヲ致シマシテ諸君ノ贊成ヲ願ヒタイト存ジマス

○男爵阪谷芳郎君 議長……

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵ハドウ云フ……

○男爵阪谷芳郎君 唯今ノ條文ガ能ク分リマセヌガ、手許ニアリマセヌカラモウ一遍

○議長(公爵徳川家達君) 委員長ニ御質問デアリマスカ

○男爵阪谷芳郎君 モウ一遍何ト云フ文句ガアリマシタカ

○伯爵清棲家教君 現行改正案トシテ出テ居リマス法律案ガアリマス、其第二條中百分ノ十一云々ト書イテアリマス、其次ハ第三條ト致シマシテ、サウシテ一、北海道府縣所得稅百分ノ三、<sup>六</sup>、<sup>二</sup>ト致シマシテ、其ノ他ノ公共團體ハ所得稅百分ノ十五トアルノヲ十四ト改メルノデアリマス

○鈴木總兵衛君 委員長ニ伺ヒタイノデアリマスガ、本院委員會ノ御修正ニナリマシタコトハ所得稅附加稅ノ制限ヲ低メラレタト云フコトニナリマシタガ、是マデ各地方ノ市町村ニ於テ制限外ノ賦課ヲ内務省ノ認可ヲ得テ施行シテ居ルノガ随分アリマス、地方ニ依リマシテハ所得稅一圓ニ付キ四十五錢位ヲ市町村デヤツテ居リマス、是等ニ對シテハドウ云フ風ニナリマスカ、一遍此處デ改正ニナツテ、更ニ新タニナルト云フノデアリマスカ、既ニ許可シタモノハ其改正ニ係ラズ、ドウモ其儘ニ施行シテ行クノデアリマスカ、斯ウ云フコトニナリマスカ、其邊ガハッキリ致シマセヌガ念ノ爲ニ伺ヒマス

○伯爵清棲家教君 唯今ノ御質問ハ篤ト分リマセヌガ、併ナガラ數字ニ互リマスコトハ私カラ申シマス中間違ヒガアツテハナリマセヌカラ、數字ニ互リマスコトハ政府委員ヨリドウカ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 鈴木總兵衛君ニ申上ゲマスガ、此唯今特別委員長清棲伯爵ガ鈴木君ノ數字ニ互ル質問ハ政府委員ニ答辯ヲ讓リタイト云フヤウニ議長ハ伺ヒマシタ、便利ノ爲ニ鈴木君ノ質問ノ點ヲ再ビ御述ベニナリマシタナラバ政府委員ヨリ適當ナ答辯ガアルカト考ヘマス

○鈴木總兵衛君 ソレデハ改メテ政府委員ニ伺ヒマス、其修正ニナリマシタ結果トシテ、所得稅ノ附加稅ノ制限ヲ從前ヨリハ低クスルト云フ趣意ニ伺ヒマシタ、然ルニ從來此制限以外ニ多クノ金額ヲ市町村ニ於テ賦課シテ居ル、是ハ固ヨリ内務省ノ認可ヲ受ケテヤツテ居ルコトデアリマス、此修正案ガ可決サレルト從來御認可ニナツタモノヲ御取消シニナツテ、更ニソレソレノ手續ヲシテ、制限以外ノ賦課ヲスルト云フコトデアルカ、或ハ一旦認可ニナツタモノ

ハ其儘ニシテ置イテ、此他ノモノダケガ變ルノデアリマスカ、其點ヲ明ニ伺ヒタイ

〔國務大臣床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 御答致シマスガ、唯今マデ許可ニナツテ居リマスモノデ、此度ノ修正ニ超過イタシマスルモノハ自然效力ヲ失スル譯デゴザイマス、併ナガラ此法律ガ施行サレルヤウニナリマシテ、實際ニ適用スルヤウナモノハサウ餘リナイト思ヒマス

○鈴木總兵衛君 唯今内務大臣ノ御答辯デ大體解リマシタヤウデゴザイマスガ、今日迄ノモノハ一旦茲ニ御取消シニナツテ新タニナル、併シ今後ノモノニ於テハ、從來ニ許シタ範圍マデハ、或ハ許スカモ知レスト、斯ウ云フ御趣意ト伺ツテ宜シウゴザイマスカ

〔國務大臣床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 御答ヘイタシマスルガ、制限外ニ認可致シマスル箇條ハ御承知ノ如ク唯今マデノ法律ノ中ニモ箇條ガゴザイマスカラ、ソレニ嵌リマスレバ認可ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵清棲家教君 日程ヲ變更セラレマシテ、直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵八條隆正君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 清棲伯爵ノ議事日程ヲ變更シテ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クト云フ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 全部ヲ問題ニ供シマシタ、委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○伯爵清棲家教君 日程ヲ變更セラレマシテ直チニ第三讀會ヲ開カレムコト

ヲ希望シマス

○子爵八條隆正君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開クト云フ清棲伯爵ノ動議ニ御異存ゴザイマスガ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○公爵徳川慶久君 所得税法改正法律案外七件ノ委員會ガ今朝濟ミマシタ、會期モ切迫シテ居ルコトゴザイマスカラ、日程ヲ變更セラレテ此場合ニ於テ第一讀會ノ續キヲ開カレムコトヲ希望イタシマス、御贊成ヲ願ヒマス

○子爵八條隆正君 贊成

○阪本鈺之助君 贊成

○男爵阪谷芳郎君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 徳川公爵ノ議事日程追加變更ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 所得税法改正法律案、所得税法ノ施行ニ關スル法律案、酒造税法中改正法律案、酒精及酒精含有飲料税法中改正法律案、麥酒税法中改正法律案、明治四十一年法律第二十四號中改正法律案、明治四十年法律第二十一號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、麥酒税法中改正法律案、衆議院提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告……念ノ爲メ申上ゲテ置キマスガ、最後ノ麥酒税法中改正法律案ハ、衆議院提出案デゴザイマス、故ニ政府ノ同意ヲ得マシテ議事日程ニ追加イタシマシタ、是ヨリ特別委員長徳川公爵ノ登壇ヲ望ミマス

所得税法改正法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十七日

右特別委員長

公爵徳川 慶久

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔委員會ノ修正ニ係ル部分ノミヲ印刷ス〕  
〔小字ハ修正文ニハ同削除ノ符號ナリ〕

第五條 法人ノ各事業年度ノ所得カ同年度ノ資本金額ニ對シ年百分ノ八ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ヲ以テ法人ノ超過所得トス

第十四條 第三種ノ所得ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ算出ス

一 俸給給料歳費年金恩給退隱料及此等ノ性質ヲ有スル給與、營業ニ非サル貸金ノ利子並第二種ノ所得ニ屬セサル公債社債及預金ノ利子ハ其ノ收入豫算年額

二 田又ハ畑ノ所得ハ前三年間毎年ノ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタルモノノ平均ニ依リ算出シタル收入豫算年額但シ前三年以來引續キ自作セス、小作セス又ハ小作ニ付セサル田又ハ畑ニ在リテハ近傍類地ノ所得ニ依リ算出シタル收入豫算年額

三 山林ノ所得ハ前年ノ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル金額賞與又ハ賞與ノ性質ヲ有スル給與ハ前年四月一日ヨリ其ノ年三月末日ニ至ル期間ノ收入金額

五 法人ヨリ受クル利益若ハ利息ノ配當又ハ剩餘金ノ分配ハ前年四月一日ヨリ其ノ年三月末日ニ至ル期間ノ收入金額ヨリ其ノ十分ノ三ニ相當スル金額ヲ控除シタル金額但シ無記名式ノ株式ヲ有スル者ノ受クル配當ハ同期間ニ於テ支拂ヲ受ケタル金額ヨリ其ノ十分ノ三ニ相當スル金額ヲ控除シタル金額

六 前各號以外ノ所得ハ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル收入豫算年額

法人ノ社員其ノ退社ニ因リ持分ノ拂戻トシテ受クル金額カ其ノ退社當時ニ於ケル出資金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ハ之ヲ其ノ法人ヨリ受

クル利益ノ配當ト看做ス株式ノ消却ニ因リ支拂ヲ受クル金額カ其ノ株式ノ拂込濟金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額亦同シ

第二十條 第三種ノ所得ハ<sup>八</sup>六百元ニ滿タサルトキハ所得稅ヲ課セス第十五條及第十六條ノ規定ニ依ル控除ヲ爲シタル爲<sup>八</sup>六百元ニ滿タサルニ至リタルトキ亦同シ

戶主及其ノ同居家族ノ所得ハ之ヲ合算シ其ノ總額ニ付前項ノ規定ヲ適用ス戸主ト別居スル二人以上ノ同居家族ノ所得ニ付亦同シ

第二十一條 第一種ノ所得ニ對スル所得稅ハ左ノ稅率ニ依リ之ヲ賦課ス  
甲 超過所得金額ヲ左ノ各級ニ區分シ遞次ニ各稅率ヲ適用ス

所得金額中資本金額ニ對シ年百分ノ<sup>十</sup>八ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユル金額  
金額ヲ超ユル金額 百分ノ<sup>四</sup>二

同百分ノ<sup>十</sup>割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユル金額 百分ノ<sup>四</sup>二

同百分ノ<sup>二十</sup>ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユル金額 百分ノ<sup>十</sup>八

同百分ノ<sup>三十</sup>ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユル金額 百分ノ<sup>十五</sup>五

乙 百分ノ<sup>七</sup>五

丙 百分ノ<sup>四</sup>五

丁 百分ノ<sup>七</sup>五

戊 百分ノ<sup>七</sup>五

法人ノ事業年度末ニ於ケル積立金及其ノ事業年度ニ於ケル留保所得ノ合計金額カ其ノ事業年度末ニ於ケル拂込株式金額、出資金額又ハ基金及之ニ代ルヘキ積立金ノ合計金額ノ二分ノ一ニ相當スル金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ニ屬スル其ノ事業年度ノ留保所得ニ對スル稅率ハ百分ノ<sup>十五</sup>トシ其ノ事業年度末ニ於ケル拂込株式金額、出資金額又ハ基金及之ニ代ルヘキ積立金ノ合計金額ニ相當スル金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ニ屬スル其ノ事業年度ノ留保所得ニ對スル稅率ハ百分ノ<sup>三十</sup>トス但

シ其ノ事業年度ニ於ケル所得ノ<sup>二十</sup>分ノ<sup>一</sup>ニ相當スル金額以內ノ金額ニ付テハ其ノ稅率ハ百分ノ<sup>七</sup>五トス

第二十二條 第二種ノ所得ニ對スル所得稅ハ左ノ稅率ニ依リ之ヲ賦課ス  
甲 公債ノ利子 百分ノ<sup>四</sup>二

其ノ他 百分ノ<sup>三</sup>五  
乙 百分ノ<sup>七</sup>五

第八十一條 法人ノ超過所得ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ大正十年七月三十一日ニ至ル間ニ終了スル各事業年度分ノ超過所得ニ限り本稅ノ<sup>三</sup>六割<sup>一</sup>分ヲ増徴ス

大正九年七月一日以後ニ於テ法人ノ事業年度ノ期間ニ變更アリタルトキハ前項ニ該當スル舊事業年度ノ期間内ニ始期又ハ終期ヲ有スル各事業年度分ノ超過所得ニ付本法ニ依リ所得稅ヲ課シ仍本稅ノ<sup>三</sup>六割<sup>一</sup>分ヲ増徴ス  
第八十五條 北海道、府縣其ノ他ノ公共團體ハ左ノ制限ヲ超過スル所得稅附加稅ヲ課スルコトヲ得ス

一 北海道、府縣 所得稅百分ノ<sup>四</sup>五  
二 其ノ他ノ公共團體 所得稅百分ノ<sup>十二</sup>八  
明治四十一年法律第三十七號ノ規定中前項ノ規定ニ抵觸スルモノハ其ノ效力ヲ失フ  
第八十六條 前條ノ規定ハ大正九年度分附加稅ヨリ之ヲ適用ス

所得稅法ノ施行ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十七日

右特別委員長

公爵德川 慶久

貴族院議長公爵德川家達殿

酒造稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十七日

右特別委員長

貴族院議長公爵德川家達殿

公爵德川 慶久

酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十七日

右特別委員長

公爵德川 慶久

貴族院議長公爵德川家達殿

麥酒稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十七日

右特別委員長

公爵德川 慶久

貴族院議長公爵德川家達殿

明治四十一年法律第二十四號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十七日

右特別委員長

公爵德川 慶久

貴族院議長公爵德川家達殿

明治四十年法律第二十一號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十七日

右特別委員長

公爵德川 慶久

貴族院議長公爵德川家達殿

麥酒稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十七日

右特別委員長

公爵德川 慶久

貴族院議長公爵德川家達殿

〔公爵德川慶久君演壇ニ登ル〕

○公爵德川慶久君 唯今議題ニ上ッテ居リマスル所得稅法案竝ニ外七件ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ極メテ簡單ニ御報告ヲ申上ゲマス、先ヅ結果ヲ申上ゲマスレバ所得稅法案ニ關シマシテハ、修正ヲ致シマシテ可決シマシタノデゴザイマス、他ノ七案ニ付キマシテハ、全部異議ナク之ヲ可決イタシマシタ、其經過ノ大體ヲ申上ゲマスレバ、御承知ノ如ク此所得稅法案ハ、第四十二議會ニ政府カラ提出サレマシテ、衆議院デ修正ヲサレ、更ニ當議會ニ於テ再ビ提出ヲサレテ、再ビ是ガ衆議院デ修正ヲサレ貴族院ニ於テ更ニ委員會ニ於テ修正ヲシタト云フコトニナリマス、既ニ是ハ周知ノ事實デゴザイマス、質問ニ付キマシテハ速記録モ既ニ配付ニナッテ居リマスカラ、極ク簡單ニ申上ゲマスルガ、例ヘバ附加稅ノ問題ニ付テ、或ハ山林所得ノ問題ニ付テ、或ハ會社ノ償却資金ノ問題ニ付テ、其他極ク微細ノ點ニ涉ッテ質問ガゴザイマシタガ、詰リ委員會ハ、既ニ世間ニモ研究ヲサレ、當議會デモ隨分研究ヲサレ盡シテ居ルノデアリマシテ質問ハ餘リ無カッタト申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、ソコデ當委員會ニ於キマシテ修正意見ガ青木子爵カラ提出サレマシタ、其修正意見ノ大體ヲ茲ニ御紹介ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、此修正意見ノ大體ハ、主義トシテ産業ノ壓迫ヲサセナイヤウニト云フコトノ下ニ、ソレカラ所謂政府ノ社會政策ナル意味ヲ沒却シナイト云フ主義ノ下ニ、ソレカラ衆議院ニ於テ取ッテ居リマス源泉綜合兩主義ノ併用ト云フ主義ノ下ニ爲サレタ修正デゴザイマス、順次修正ノ點ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、第一ノ點ハ留保所得ノ率ヲ下ゲタコトデゴザイマス、是ハ一面ニ世間デ所謂合法的脫稅ヲ防グ意味ニ於テ可ナリ高イ率ガ掛ケラレテアッタノデゴザイマスケレドモ、是ハ會社ノ積立金ヲ減ラストカ色々惡イ結果ヲ來シハシナイカト云フ爲ニ之ヲ率ヲ下ゲルコトニ致シマシタ、第二ノ點ハ第三種即チ個人ノ所得ニ對シテ、ゴザイ

マスガ、衆議院ニ於テ三割ノ天引ヲスルコトニ修正シテ參タノデアリマス  
ルガ、貴族院ノ委員會ニ於キマシテハ大體急激ナ……株主ニ對シテ急激ナ變  
化ヲ與フルト云フコトハ、ドウデアラウカト云フ趣意ノ下ニ、又他ノ一面ニ於  
キマシテハ借金ニ依ッテ株券ヲ所有シテ居ル者即チ言葉ヲ換ヘテ申シマスル  
ト事業家ヲ壓迫スルト云フコトハ、少カラズ産業ニ影響ヲ及ボシハシナイカ  
ト云フコトノ爲ニ三割ヲ四割ニ引直シタ次第アリマス、ソレカラ第三ノ點  
ハ免稅點ノ引上デゴザイマス、是ハ衆議院ノガ六百圓デアリマシタノヲ此度  
委員會ニ於キマシテ八百圓ト云フコトニ引上ゲマシタ、是ハ即チ政府ノ所謂  
社會政策ノ意味ヲ贊成ヲ致シマシテ、更ニ之ヲ引上ゲタヤウナ次第デゴザイ  
マス、ソコデ唯今ノヤウナ修正ヲ致シマシタ結果、計數ノ上ニ不足ガ生ジテ  
參リマス其不足ヲ補フ爲ニ第一ニ法人ノ超過所得ニ之ヲ求メマシタ、第二ニ  
ハ衆議院ガ新タニ認メマシタ法人ノ配當所得ニ之ヲ求メマシタ、第三ニハ第  
二種ノ公債、社債、定期預金及ビ之ニ類スルモノハ餘リニ他ト比シテ低率デ  
ハナイカト云フ關係カラ、是モ引上ゲテ計數ヲ填補スルコトニ致シマシタ、  
ソレデ實ハ此修正點ヲ印刷ニシテ御廻シスル筈デアリマスガ、少シ間ニ合ヒ  
マセヌ關係上、マダ御手許ニ廻ッテ居ラナイカトモ考ヘマス、故ニ茲ニ大體  
數字ヲ極ク簡單ニ申上ゲテ見ヤウト思ヒマス、即チ留保所得ニ於キマシテハ、  
資本金額ノ五割相當以内ノ額ハ、原案ガ百分ノ七「コムマ」五デゴザイマシタ  
ノガ百分ノ五ト云フコトニ致シマシタ、五割相當ノ額ヲ超エタ場合ニハ原案  
ガ「百分ノ十五」トゴザイマシタノヲ「百分ノ十」ト致シマシタ、ソレカラ資本  
金額ヲ超エタル場合ニハ「二十」トゴザイマシタノヲ「二十」ト云フコトニ下ゲ  
マシタ、ソレカラ第三種ノ所得ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタ通り三割  
ノ天引ヲ四割ト云フコトニ致シマシタ、ソレカラ超過所得稅ニ付キマシテ、  
即チ財源ノ減收ヲ填補スル爲ノ額デゴザイマスガ、是ハ利益金ガ資本金ニ對  
シテ年一割以下ナル時ハ課稅ヲセヌ、ソレカラ一割ヲ超エテ二割以下ノ金額  
ノ場合ニハ原案ノ通り百分ノ四、二割ヲ超エテ三割以下ノ金額ハ原案ガ「百分  
ノ八」デゴザイマシタノヲ「百分ノ十」ト改メマシタ、ソレカラ三割ヲ超エル  
金額ハ原案ガ「百分ノ十五」トゴザイマシタノヲ「二十」ト致シマシタ、ソレカ  
ラ法人ノ配當所得ニ付キマシテハ「百分ノ四」ヲ「百分ノ五」ト致シマシタ、ソ  
レカラ第二種ノ公債社債定期預金ノ利子ハ、公債ニ付キマシテハ「百分ノ四」  
其他ニ付テハ「百分ノ五」ト云フコトニ改マッタヤウナ譯デアリマス、ソコデ

然ラバ此修正ガ計數ニドウ云フ風ニ響クカト云フ點ヲ、少シ極ク簡單ニ申上  
ゲテ見ヤウト思ヒマス、計數ニ於キマシテハ平年度ニ於テ三十六萬餘圓ノ不  
足ガ出ルノデアリマス、併ナガラ此國防計畫ヲ實行シヤウト云フ大正九年度  
ニ於テハ四萬圓ノ不足デ濟ミマス、大正十年度ニ於キマシテハ九十四萬圓ノ  
増收ト云フコトニ相成リマス、計數ハ此位ニシテ止メテ置キマス、ソレデ唯今  
ノ修正案ハ大多數ヲ以テマシテ委員會ヲ通過イタシマシタ、尙ホ此外ニ若槻  
君ヨリ山林所得ニ對スル修正案、其他尙ホ一點ゴザイマシタ、是ハ贊成者ヲ  
得ズシテ其儘消滅イタシマシタ、ソレカラ最後ニ一ツ申上ゲテ置キマスノハ、  
大藏省ガ常ニ増稅ヲ企テラレル場合ニ於テ、ドウモ其査定額ヲ低ク見積ラレ  
ル傾キガアリハセヌカ、例ヘバ戰時利得稅ガ三千七百萬圓ノ所要ノ場合ニ、  
此度發表ニナリマシタ官報ニ依リマス、實狀ガ一億五千萬圓、約四倍ニ達  
シテ居リマス、隨分其當時ニ於テモ民間ニ於テ餘リ査定ガ低ク過ギハシナイ  
カト云フ議論ガアッタノデアリマス、此際ニモサウ云フヤウニ或ハ大藏省ノ查  
定ガ餘リニ低ク過ギハシナイカト云フ點ヲ隨分懸念シテ、其爲ニ納稅負擔者  
ハイロ／＼疑懼ヲ懷イテ居ルヤウナ傾キガゴザイマス、大藏省トシテハ自然  
増收ガ益殖エルコトハ然ルベシトハ考ヘマスケレドモ、増稅ナルモノニ付  
テハ餘程慎重ニ計數ヲ査定セラル、コトガ必要デハナイカト云フ注意的ノ質  
問ガ出テ居リマス、尙ホ一步進ンデ、大藏大臣ハ若シ今度ノ場合ニ於テ三倍  
トカ四倍トカ云フ計數ガ出テ來タナラバ、即チ歳入ハ國防費以外ニ之ヲ使フ  
ト云フコトニナルノデアアルカ、サウ云フ場合ニ如何ニナサイマスカト云フ位  
迄ノ質問ガ大藏大臣ニ向ッテ出テ居ッタノデゴザイマス、唯是ハ御參考ノ一ト  
シテ茲ニ申述ベテ置キマス、ソレカラ唯今丁度清棲伯爵カラ御報告ニナリマ  
シタ附加稅ノ問題デゴザイマスガ、當委員會ニ於キマシテモ、斯ノ如ク増稅  
ヲサレルノデアリマスルカラ、附加稅ニ付テ十分制限ヲセラレタイ、尙ホ此  
上ニ非常ナル負擔ヲ負ハセラレナイヤウニシタイト云フ希望ガゴザイマシ  
テ、茲ニ附則ト致シマシテ、改正ノ條文ヲ入レタノデゴザイマス、是モ矢張  
リ間ニ合ヒマセヌデ御手元ニ廻ッテ居リマセヌト思ヒマスカラ、此處デ讀ン  
デ見ヤウト思ヒマス

#### 所得稅法附則

第八十五條 北海道、府縣其ノ他ノ公共團體ハ左ノ制限ヲ超過スル所得稅  
附加稅ヲ課スルコトヲ得ス

一 北海道 府縣

二 其他ノ公共團體

明治四十一年法律第三十七號ノ規定中前項ノ規定ニ牴觸スルモノハ其ノ效力ヲ失フ

第八十六條 前條ノ規定ハ大正九年度分附加税ヨリ之ヲ適用ス

斯ウ云フ條文デゴザイマス、此附則ヲ附ケマシテ委員會ハ修正可決イタシマシタ次第デゴザイマス、右大要御報告申上ゲマス

〔若槻禮次郎君、鎌田勝太郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 念ノ爲此際議長カラ申上ゲテ置イタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、唯今徳川公爵ガ特別委員長トシテ報告セラレマシタ法案ハ同一委員ニ付託セラレマシタカラ、一括シテ委員長ノ報告ヲ煩ハスト云フコトヲ報告前ニ諸君ニ御諮リ致シマスノデアリマシタカラ、念ノ爲メ此コトヲ申上ゲテ置キマス

〔公爵徳川慶久君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 徳川公爵ハ……

○公爵徳川慶久君 他ノ案ニ付テ言ヒ落シマシタカラ……

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

〔公爵徳川慶久君演壇ニ登ル〕

○公爵徳川慶久君 尚ホチヨット申落シマシテゴザイマスガ、他ノ諸案ニ付キマシテハ何等ノ質問モナク何等ノ御意見モナクシテ、全部ガ可決ニナツテ居リマスノデゴザイマス、此點ヲ特ニ申上ゲ落シマシタカラ、一言附加ヘテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際議長ガ申上ゲタイコトハ、先ヅ以テ所得税法改正法律案ヲ議題ト致シマス

〔若槻禮次郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 若槻君少々……サウ御急ギニナラヌデ宜カラウト考ヘマス、若槻禮次郎君ニ伺ヒタイコトガゴザイマスカラ暫ク御待チテ願ヒマス、若槻君ハ今發言ヲ求メラレタヤウデアリマスガ、ドウ云フコトデスカ

○若槻禮次郎君 委員長ニチヨット質問ヲ致シタイノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 委員長ニ對スル質問、宜シウゴザイマス

○若槻禮次郎君 委員長ノ御報告ノ中ニ、第八十一條ニ關スルモノガ漏レテ

居リハ致シマスマイカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○公爵徳川慶久君 唯今ノハ、仰シヤイマス通り八十一條ノ條項ハ私ガ落シマシタ、是ハ六割一分ヲ三割五分ト云フコトニ改メルノデアリマス、申落シマシタ

○鎌田勝太郎君 私ガ述べムト欲シマシタ所モ、唯今若槻君ノ述べラレタ通りデアリマス、委員長ノ報告漏レガアツタヤウニ思ヒマシテ、是ガ注意ヲサムト欲シタノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ニ對シテ別段御發言モナイヤウニ存ジマスカラ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵八條隆正君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵青木信光君 賛成

○石渡敏 君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ所得税法改正法律案第二讀會ヲ開クト云フ、八條子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス

〔子爵八條隆正君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 少々御待チテ願ヒマス、委員會ニ於ケル修正ノ條文ノ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

所得税法改正法律案修正條文

第五條中「百分ノ八」ヲ「百分ノ十」ニ改ム

第十四條第一項第五號中「十分ノ三」ヲ「十分ノ四」ニ改ム

第二十條中「六百圓」ヲ「八百圓」ニ改ム

第二十一條第一項ヲ左ノ如ク改メ第二項中「百分ノ十五」ヲ「百分ノ十」ニ改ム

「百分ノ三十」ヲ「百分ノ二十」ニ改ム

第一種ノ所得ニ對スル所得稅ハ左ノ稅率ニ依リ之ヲ賦課ス

甲 超過所得金額ヲ左ノ各級ニ區分シ遞次ニ各稅率ヲ適用ス

所得金額中資本金額ニ對シ百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユル金額 百分ノ四

同百分ノ二十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユル金額 百分ノ十

同百分ノ三十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユル金額 百分ノ二十

乙 百分ノ五

丙 百分ノ五

丁 百分ノ七、五

戊 百分ノ七、五

第二十二條中「百分ノ二」ヲ「百分ノ四」ニ「百分ノ三」ヲ「百分ノ五」ニ改ム

第八十一條中「六割一分」ヲ「三割五分」ニ改ム

第八十五條 北海道、府縣其ノ他ノ公共團體ハ左ノ制限ヲ超過スル所得稅

附州稅ヲ課スルコトヲ得ス

一 北海道、府縣

二 其ノ他ノ公共團體

明治四十一年法律第三十七號ノ規定中前項ノ規定ニ牴觸スルモノハ其ノ效力ヲ失フ

第八十六條 前條ノ規定ハ大正九年度分附加稅ヨリ之ヲ適用ス

〔子爵八條隆正君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 八條子爵ハドウ云フコトデアリマスカ

○子爵八條隆正君 少々意見ヲ申述ベタイ、簡單ナコトデゴザイマスカラ、

自席ヨリ申述ベテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) ドノ箇條ニ付テ……

○子爵八條隆正君 所得稅法改正法律案ノ附則ノ分ニ付テ……

○議長(公爵德川家達君) 唯今議長ハ是ヨリ問題ニ供スルコトヲ申上ゲヤウト存ジテ居リマス、其後ニ願ヒタイモノデアリマス、先ヅ以テ逐條ニ移リマシテ、唯今問題ニ供シタク存ジマスノハ、第一條ヨリ第八十四條マデト御承知ヲ請ヒマス、所得稅法ト云フ題號モ含ンデ居ルト御承知ヲ請ヒマス、八條子爵ノハ第八十五條第八十六條ニ關スルコトデアアルカト考ヘマス

○子爵八條隆正君 左様デアリマス

○議長(公爵德川家達君) ソレナラ後デ願ヒマス、唯今議長ノ問題ニ供シマシタ分ハ、委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是ヨリ第八十五條、第八十六條デゴザイマス、此際八條子爵ノ發言ヲ許シマス

○子爵八條隆正君 唯今問題ニ供セラレマシタル、第八十五條及ビ第八十六條ハ、要スルニ委員長ヨリ報告ニナリマシタル通り、所得稅ノ附加稅ノ負擔ヲ輕減イタサウト云フ趣旨デアアルノデアリマスガ、是ハ日程第二十七、明治四十一年法律第三十七號中改正法律案ニ於キマシテ、既ニ其趣旨ハ採用セラレマシタ、本議場ニ於キマシテ可決相成ツタモノデゴザイマスル、即チ第八十五條、第八十六條ハ重複且ツ牴觸スルモノデアリマスル故ニ、不必要ト認メマス、即チ自然消滅ト相成ツテ來タモノト存ジマス

○男爵阪谷芳郎君 八條子爵ニ贊成ヲ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 削除説ニハ贊成者ハ要シマセヌ、唯今議長ノ問題ニ供シマシタニ箇條同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス、故ニ削除セラレマシタ、是デ第二讀會ハ終リマシタ

○子爵八條隆正君 直チニ此際第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵青木信光君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 次ハ諸君ニ於テ御異存アリマセヌバ、所得稅法ノ施行ニ關スル法律案外六件ヲ問題ニ供シマス、是等ノ法案ノ第二讀會ハ開イ

テ御異存アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵八條隆正君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○和田彦次郎君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 八條子爵ノ第二讀會ヲ直チニ開クト云フ説ニ御異存アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議案全部ヲ問題ニ供シマス、全部委員長ノ報告通リテ御異存アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵八條隆正君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵青木信光君 賛成

○和田彦次郎君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リテ御異存アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十八ヨリ第三十二マデハ同一委員ニ付託セラレマシタカラ、御異存ガナケレバ委員長ノ報告ハ一括シテ煩シクタイト考ヘマス、日程第二十八ヨリ第三十二マデ法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、柳原伯爵

關稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十六日

右特別委員長

伯爵柳原 義光

貴族院議長公爵徳川家達殿

明治四十三年勅令第三百三十一號等ノ廢止ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十六日

右特別委員長

伯爵柳原 義光

貴族院議長公爵徳川家達殿

關稅法關稅定率法保稅倉庫法及假置場法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十六日

右特別委員長

伯爵柳原 義光

貴族院議長公爵徳川家達殿

内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ内國稅免除ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十六日

右特別委員長

伯爵柳原 義光

貴族院議長公爵徳川家達殿

朝鮮又ハ臺灣ヨリ移出シタル物品ノ内地又ハ樺太ニ於ケル取締ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十六日

右特別委員長

伯爵柳原 義光

貴族院議長公爵徳川家達殿

右特別委員長

伯爵柳原 義光

貴族院議長公爵德川家達殿  
〔伯爵柳原義光君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳原義光君 唯今議題ニ供セラレマシタル關稅法中改正法律案、明治四十二年勅令第三百二十一號等ノ廢止ニ關スル法律案、關稅法關稅定率法保稅倉庫法及假置場法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル法律案、内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ内國稅免除ニ關スル法律案、朝鮮又ハ臺灣ヨリ移出シタル物品ノ内地又ハ樺太ニ於ケル取締ニ關スル法律案、此五案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、此委員會ハ都合三回開キマシテ政府委員ノ出席モ請ヒマシテ、イロ／＼質問等ヲ致シマシタ結果、結局全會一致ヲ以テ可決イタスベキモノト定メタノデアリマス、簡單ニ此五案ノ説明ヲ申上ゲマスルト、元來此朝鮮ノ關稅ハ内地ニ比シマスルト頗ル低クアリマシテ、而シテ此韓國ノ合併ニ依リマシテ韓國ガ帝國ノ領土トナリシ以上ハ直チニ内地ノ關稅ヲ施行スルモ敢テ差支ナカッタノデアリマスガ、當時外國ニ對スル各種ノ關係等ヲ考慮イタシマシテ、明治四十三年八月韓國合併ニ關スル宣言ヲ發シマシテ、朝鮮ニ於ケル關稅ハ併合後十年間ハ從來ノ儘之ヲ据置クコト、シテ次第デアリマス、其結果朝鮮ニ於テハ現在尙舊韓國時代ニ定メラレタル所ノ極メテ低率ノ關稅ガ依然トシテ施行セラレテ居ッタノデアリマス、然ルニ右關稅据置キ十年間ノ時期ハ今年ノ八月二十八日ヲ以テ完了イタシマスルニ付キマシテハ、政府ハ此機會ニ於テ内地海關ノ關稅統一ヲ圖リマシテ、内地ノ關稅法規ヲ朝鮮ニモ施行スル手筈ニナシ得ルノデアリマス、而シテ此内地ノ關稅法規ヲ朝鮮ニ施行スルカト云フコトハ勅令ヲ以テ爲シ得ルモノデアリマスルカラシテ、此點ハ別ニ議會ノ協贊ハ要ラナイノデアリマス、去リナガラ此内地ノ關稅法規ヲ朝鮮ニ施行スルニ付キマシテハ、先ヅ關稅法中二三ノ規定ヲ改正スル必要ガアルノデアリマス、即チ現今ノ關稅法ノ規定ニ依レバ、外國ノ貨物ノ輸出入ハ開港ニ依リニアラザレバ之ヲ爲スコトガ出來ナイ、斯ウ申ス規定ニナツテ居ルノデアリマス、即チ内地ニアリテハ常ニ開港輸入ヲ致シテ居リマスケレドモ、朝鮮ハ内地ト事情ガ異ツテ居リマシテ、御承知ノ如ク陸接ノ國境ガアリマスルガ故ニ、港灣以外ニ於テモ貨物ノ移出入ヲスル必要ガアルノデアリマス、又内地ニ於テモ近來ノ趨勢ニ鑑ミマスルノニ、外

國貿易船ノ出入ハ敢テ開港ニ限ル、出入ガ開港ニ限ルト致シマスルト、之ヲ陸揚ゲテ致シマシタリ、或ハ又之ニ積込ムベキ貨物ノ移出人ハ開港以外ノ地ニ於テモ亦之ヲ爲シ得ルコトヲ利便ト致ス場合ガ多イノデアリマス、故ニ此趣旨ヲ以テマシテ、第二十四條ヲ改正イタシマシテ、苟モ關稅手續ヲ爲シ得ル地域ナレバ外國貨物ノ輸出入モ爲シ得ルコト、シタノデアリマス、又現行法ニ依リマスレバ、内地ニ於テハ外國貿易船ハ開港ヲ原則トスル、不開港ニハ入港スルコトガ出來ナイト云フ規定ニナツテ居リマスガ、巨大重量品ヲ不開港ニ於テ陸揚ゲスル場合ニ於テハ稅關應ノ許可ヲ得テ不開港ニ出入スルコトガ出來ルノデアリマス、然ルニ朝鮮ニ於テハ貨物ノ陸揚以外ノ積出シノ場合竝ニ開港ノ交通著シク不便ナル場合ニ於テ貨物ノ積下シヲ爲ス場合ニモ、亦不開港入港ノ許可ヲ爲シ得ルコト、爲シタノデアリマス、而シテ此取扱ハ内地ニ於テモ亦其必要ヲ認メマス次第デアリマスガ故ニ、第九十八條ヲ改正イタシマシテ現在ノ朝鮮ニ於ケル取扱通リト爲スコトニシタノデアリマス、次ニ別ニ本議會ニ提出セラレタル所ノ關稅定率改正法律案中ニ不當廉賣ニ關スル規定ガアリマシタノデアリマスガ、而シテ此稅關官吏ガ此不當廉賣ノ事實調査ヲ爲ス場合ニ於テハ、現行ノ關稅法中ノ犯罪調査ニ關スル規定ヲ準用スル必要ガアリマスルカラシテ、之ニ關スル一條ヲ附加スルコトトシタノデアリマス、以上ハ此關稅法中改正法律案ノ改正ノ要點デアリマス、次ニ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル法律案ノ内容ヲ簡單ニ申上ゲマスレバ、内地ノ關稅法規ヲ朝鮮ニ施行スルコトスルモ、朝鮮ニ於テハ其民力、産業竝ニ地勢ノ關係等ヨリ、内地ノ法規ニ對シテ多少ノ例外的ニ特例ヲ設ケル必要ガアルノデアリマス、此特例ハ或ル種類ノ物品ノ關稅率ニ付キ朝鮮ニ於テハ、特ニ内地ヨリハ幾分低率ナル必要ガアリマス、又無稅若クハ免稅トナル必要ノモアルノデアリマス、即チ馬、綿羊、「コークス」、木材ハ之ヲ無稅トシ、鹽、煙草、礦油ナドハ特ニ低ク稅ヲ課スルコトニシタノデアリマス、又從來朝鮮ニ於テ鑛業獎勵ノ意味ヲ以テ鑛山採掘若クハ製鍊事業ニ要スル物品ニ輸入稅ヲ免除セラルモノ及ビ國境ヲ通過スル鐵道車輛竝ニ其車輛内ニ於テ消費スベキモノハ今後ト雖引續キ免除スルコト、シタノデアリマス、次ニ陸接國境ニ於ケル貿易ニ付テハ、近來朝鮮ハ特別ノ取扱ヲ爲シ來ッタノデスガ、朝鮮、内地關稅統一後モ、尙ホ舊來ノ取扱ヲナス必要ガアリマスカラ、是モ亦從前通りノ特例ヲ設クルコトニシタノデアリマス、又關稅法規中内地ニ於テ大藏大臣ノ取扱フ

訴願若クハ保税倉庫假置場等施設ノ特許ハ朝鮮ニ於テハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ取扱フ、又開港ノ指定モ朝鮮ニ於テハ朝鮮總督府ガ之ヲ指定スルコトニシタノデアリマス、是ガ第二ノ精神デゴザイマス、次ニ明治四十三年勅令第三百三十一號等ノ廢止ニ關スル法律案ノ内容ヲ申上ゲマスレバ、以上述ベマシタ如ク内地朝鮮ノ關稅ガ統一セラレマシタ結果、從來内地朝鮮間ノ交通貿易ヲ外國貿易ニ準ジテ移入稅ヲ課シ又ハ船舶ニハ噸稅ヲ課スコト等ヲ規定シタル所ノ明治四十三年勅令第三百三十一號緊急勅令竝ニ朝鮮ヨリ内地ニ移入シ來レル米、粳、大豆、果物、礦物、肉類等ノ移入稅ヲ減免スルコトヲ規定セル法律ハ之ヲ廢止スルコトニシタノデアリマス、次ニ内地稅ノ免除又ハ拂戻ニ關スル法律案ノ内容ヲ略言イタシマスレバ、關稅關係ニ於テハ内地朝鮮間ハ統一セラレルノデアリマスガ、消費稅ニ付テハ内地及ビ朝鮮間ハマダ事實上統一スルコトガ出來マセヌカラシテ、朝鮮ニ移出スル物品中内地消費稅ヲ課シタルモノハ、内地稅ノ免除拂戻等ヲ大體ニ於テ從前通り行フコト、シタノデアリマス、次ニ朝鮮ヨリ内地ニ移出シタル物品ハ内地ニ於ケル取締ニ關スル法律案ノ内容ヲ簡單ニ申上ゲマスレバ、朝鮮ニ於テハ消費稅又ハ關稅ヲ課セズ、若クハ内地ヨリ低キ稅率ヲ課シタルモノヲ内地ニ移出スルモノニハ、其移出ノ際ニ朝鮮ニ於テ相當出港稅ヲ課スルコトニ制令ヲ以テ規定スル筈デアリマスガ、万一其出港稅ノ賦課ヲ脱シテ内地ニ移出シ來タルモノニ對シテハ、内地ニ於テ更ニ課稅シ又ハ罰金ヲ課シテ之ヲ取締ル必要ガアリマス、而シテ此關係ハ内地ト臺灣ノ間ニ於テモ同様ノ事情ガアルノデアリマスカラシテ、朝鮮又ハ臺灣ヨリ移出シタル所ノ物品ヲ内地又ハ樺太ニ於テ取締リ得ル途ヲ設ケテ便宜ヲ圖ツタノデアリマス、以上ハ此五案ノ大體ノ精神ノアル所ヲ簡單ニ説明イタシマシタ譯デアリマスレバ、委員會ニ於キマシテハ無論全會一致ヲ以テ可決ヲ致シタノデアリマスガ、一ノ希望條件ガ出タノデアリマス、ソレハ此内地ト朝鮮間ノ關稅ノ制度ヲ統一シマスルニ當リマシテ、尙ホ此朝鮮ノ移入稅ノミガ獨リ依然トシテ存置セラレルノハ誠ニ遺憾デアルカラシテ、之ヲ成ルベク速カニ撤廢イタシタイト云フ希望條件ガ出タノデアリマス、即チ斯ノ如キ希望ノ條項ガ文書ヲ以テマシテ希望條項ヲ委員會ニ於テ定メタノデアリマス、今次内地朝鮮間ノ關稅制度ヲ統一セラルルニ當リ尙朝鮮移入稅ノミ獨リ存置セラル、ハ遺憾ナリ政府ハ將來成ルベク速ニ是ガ撤廢ヲ期シ關稅統一ノ趣旨ヲ徹底セラレンコトヲ望ム、斯ノ如キ希望條項ガ委員ノ一人カ

ラ出マシテ、委員會ニ於テハ一同皆此希望條項ヲ附スルコトニ贊成シタノデアリマス、政府當局ニ於テモ亦希望ノ條項ノ趣ヲ容ルコトニ承諾ヲサレタノデアリマスカラ、合セテ此希望條項モ諸君ニ於テハ御贊成アラムコトヲ希望シマス、大體委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 所得稅法改正法律案ハ唯今衆議院へ廻送イタシマシタ故ニ、衆議院ニ於テ同意ヲ表セラルルヤ否ヤハ分リマセヌ、ソレ等ノ都合ニ依リマシテ暫ク休憩ヲ致シマス

午後二時三十分休憩

午後四時十五分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ前刻ニ續キマシテ、會議ヲ開キマス、此際議長ハ會議時間ノ延長ヲ宣告イタシマス、此際諸君ニ御諮リヲ致シマス、日程第二十八ヨリ第三十二マデハ同一委員ニ付託セラレマシタカラ、委員長ノ報告ハ一括シテ煩シマシタ、此際モ此法案全部ヲ一括シテ議題トナスコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、日程第二十八ヨリ第三十二マデノ議案ノ第二讀會ヲ開クベシトスルコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵柳原義光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵榎本武憲君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 五案全部ヲ問題ニ供シマス、全部委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 五案全部ヲ問題ニ供シマス、全部委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵柳原義光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス  
○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ、御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程三十三、戦時海上再保険法廢止法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

戦時海上再保険法廢止法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十三日

右特別委員長

伯爵松本 宗隆

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵松本宗隆君演壇ニ登ル〕

○伯爵松本宗隆君 本案ニ付キマシテ委員會ノ經過ト結果ヲ御報告イタシマス  
本案ハ御覽ノ通り至ッテ簡單ナ案デアリマシテ、曩キニ制定セラレマシタル戦時海上再保険法ノ、最早平和克復イタシマシタモノニ付テ、之ヲ廢止セムトスルノ案デアリマシテ、委員會ニ於キマシテ、政府委員ヨリノ説明ヲ承リマスレバ、契約總高ガ約四十九億圓デ、之ニ對スル再保険料ガ四千萬圓デ、而シテ損害支拂ガ千三百万圓、即チ差引キ二千七百万圓ノ剩餘ヲ生ジタト云フコトデアリマス、併シ是ヨリ前キニ、戦時海上保険補償案ガ制定セラレマシタル其結果、政府ノ負擔ガ約二千七百万圓負擔セラレテ居リマスカラシテ、彼レト是レトヲ差引イテ見マスレバ、大體ニ於テ收支相均シク並行シタノデアリマス、併シ多少ノ損害高ガ残ッテ居リマスルカラシテ、是等ノ殘務ヲ處理セムガ爲ニ附則ヲ設ケラレマシタ次第デゴザイマス、曠古ノ戦局ニ當ッテ、此制度ニ依リマシテ我船舶ヲ保護シ貿易ヲ助長イタシマシテ、制度ノ目

的ハ達セラレタノデアリマスルガ、併シ最早今日ハ御承知ノ如ク海上ノ危険

モナク、又保険率モ非常ニ低下シ來リマシタカラシテ、今日之ヲ廢止スルト

云フコトハ適當ナルコトト認メマシテ、委員會ニ於キマシテハ、何等ノ異議

ナク可決ニ相成リマシタコトデゴザイマス、此段御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌ

カ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵榊原隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセ

ヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵松本宗隆君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三十四、著作権法中改正法律案、衆議院提

出、第一讀會ノ續、委員長報告、廣澤伯爵

著作權法中改正法律案

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三十四、著作権法中改正法律案、衆議院提

出、第一讀會ノ續、委員長報告、廣澤伯爵

著作權法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十六日

右特別委員長

伯爵廣澤金次郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵廣澤金次郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵廣澤金次郎君 唯今議題ニ上リマシタル著作權法中改正法律案ノ委員  
會ノ審査ノ結果ヲ御報告申上ゲマス、會期切迫ノ際デアリマスカラ、成ルベ  
ク簡單ニ御報告申上ゲヤウト考ヘマス、本案ハ衆議院提出案デアリマス、而シ  
テ此衆議院ノ提出ノ理由ハ、近來ノ蓄音機ノ發達ニ伴ヒマシテ、此蓄音機ノ  
音譜盤ノ模造若クハ偽作ガナカク盛ニナリマシテ、當業者ノ甚ダ營業ノ妨  
害ニナルト云フ、ソレヲ防止スルト云フノガ、本案ノ提出ノ理由デゴザイマ  
ス、而シテ本案ニ依リマス、演奏歌唱ノ此二ツノモノヲ所謂著作物ト認メ  
ルノデアリマス、故ニ第一條ノ寫真ノ次ニ「演奏歌唱」ト云フ文字ヲ加ヘマシ  
テ、是等ノモノヲ著作權法ニ依リ保護サル、著作物ト認メルノデアリマス、  
而シテ第三十二條ノ三ニ於キマシテ「音ヲ器械的ニ複製スルノ用ニ供スル機  
器ニ他人ノ著作物ヲ寫調スル者ハ偽作者ト看做ス」此文句ハ長イノデゴザイ  
マスガ、是ガ即チ現今蓄音機ノ音譜盤ノコトヲ、斯ノ如キ文字デ現ハシタノ  
デアリマス、故ニ第三十二條ニ於キマシテ、第一條ヲ以テ明記スル演奏歌唱  
ヲ音譜盤ニ偽作シタ者ハ、之ヲ著作權ノ侵害者トシテ、是デ取締ルコトガ出  
來ルノデアリマス、以上ガ本案ノ修正ノ理由デアリマス、之ニ付キマシテ政  
府當局者ノ意見ハ如何デアッタカト云フコトヲ尋ネマシタガ、政府當局者ハ  
内務省ノ方ニ警保局ガアリマスルシ又司法省ノ方ノ當局者モ、是等ノ取締リ  
ハアツテモ當然デアラウト、即チ之ニ賛成サレテ居ルノデアリマス、唯此著作  
權法中ノ改正ニ依リ、外國ニ於ケル、殊ニ支那ニ於ケル音譜盤ノ偽造偽作ヲ、  
之ガ防止スルト云フコトハ困難デアラウト云フコトデアリマス、併ナガラ  
本邦ニ於ケル偽作等ハ是デ以テ充分ニ防グルト云フ考デアリマス、甚ダ簡單  
デアリマスガ以上ハ委員會ノ報告デアリマス

○男爵小早川四郎君 チョット委員長ニ御質問イタシマスガ、此案ハ可決ニ  
ナッタノデアルカ、否決ニナッタノデアリマスカ

○伯爵廣澤金次郎君 甚ダ失念イタシマシタガ、衆議院ノ修正通り可決ニナッ

タモノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 廣澤伯爵ニ伺ヒマスガ、修正ハナイヤウニ思ヒマ  
ス

○伯爵廣澤金次郎君 ソレハ私ノ言ヒ間違カモ知レマセヌガ、衆議院案ハ初  
メテ本院ニ送付ニナリマシタ時分ニハ、二十二條ニ加ヘテアリマシタガ、衆  
議院委員會ニ於テ第一條ト、ソレカラ第三十二條ノ三ヲ御加ヘニナリマシタ、  
其意味ヲ申上ゲタノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵廣澤金次郎君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 委員長報告ノ通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

〔「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通りデ御  
異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、明二十八日午前十時ヨリ  
開會イタシマス、議事日程ハ決定次第本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本  
日ハ是ニテ散會

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、明二十八日午前十時ヨリ  
開會イタシマス、議事日程ハ決定次第本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本  
日ハ是ニテ散會

午後四時二十九分散會